

会長のページ	医療事故調査委員会その後	河野 雅行	3
COVID-19報告	新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（10月12日現在）	吉田 建世	4
日州医談	医事紛争について	小牧 斎	6
随 筆	表彰状、感謝状－転居異聞（その4）	森 憲正	8
私の本	医療概論－医療従事者のコンセンサス14章－	高崎 眞弓	11
私が推薦する本	青春の墓標 ある学生活動家の愛と死	大西 雄二	12
エコー・リレー（543）		横山 晃子, 石田 康行	14
メディアの目	人間到る処青山あり	佐伯 浩之	15
国公立病院だより（都農町国民健康保険病院）		立野 進	22
宮崎大学医学部だより（病理学講座 腫瘍・再生病態学分野）		福島 剛	24
部会だより（学校医部会）		高木 純一	25
診療メモ	足のトラブル（巻き爪、タコ、ウオノメ）の治療 －足育の重要性－	井上 知宏	64
宮大医学部学生のページ	宮崎大学学園祭 清花祭（中止）	濱川 晃輔	66

宮崎県感染症発生動向	16
各郡市医師会だより（南那珂医師会，西諸医師会）	18
各種委員会（健康スポーツ医学委員会）	27
九州医師会連合会第387回常任委員会	28
ベストセラー	29
日医インターネットニュースから	30
あなたできますか？（令和元年度医師国家試験問題より）	32
医師協同組合だより	33
医師国保組合だより	34
会員の異動・変更報告	36
理事会日誌	38
県医の動き	42
ドクターバンク情報	43
行事予定	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
あとがき	72

お知らせ 「新春随想」原稿募集	13
医療事故調査制度相談窓口	37
日州医事へのご意見・ご感想	47
日本医師会生涯教育講座参加証配布の停止について	62
医療勤務環境改善支援センター	63
郡市医師会への送付文書	68
宮崎県医師会メーリングリストのご案内	71
ご案内 第120回九州医師会総会・医学会のご案内	26

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

秋の日を残して風の帰り道

「道」をテーマに写真を、「風」をテーマに俳句を楽しんでいます。えびの高原の不動池横の遊歩道から撮影しました。写真の奥が硫黄山、韓国岳です。四季折々の風と出逢う道です。むかし氷点下の二月にここから撮ったモノクロの写真に、飯田長雄先生、園田文雄先生、仮屋寿生先生より「よかなー」と高い評価をいただいた思い出深い道です。

まると しのり
都城市 丸田茂徳

会長のページ

医療事故調査委員会その後

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

医療事故調査制度が開始されて5年が経過しました。本年7月号に宮崎県医師会医療事故調査支援委員会の比嘉委員長が詳細に述べられていますように、発足当時は全国的にさまざまな混乱もあったようですが、宮崎県ではこの制度が当初から上手く機能しています。これは担当の濱田副会長、比嘉委員長を始めとする支援委員会委員の皆様の献身的な努力の賜物です。感謝申し上げます。

この制度が始まって以来、医療を巡る医事紛争や医療関係訴訟数が減少したような印象があります。よく言われますように医療行為は不完全なもので、医師や医療従事者の真摯な努力にもかかわらず必ずしも期待した結果を得られない場合もあります。後から振り返れば何とでも言えますが、その場では予測困難なことも多く、医療行為やその結果が医学通説的には問題なくとも、患者さんやご遺族の思惑とは大きな齟齬を来す場合もあり、結果的に訴訟に陥る不幸な事例もあったようです。県医師会内の苦情処理委員会に寄せられる事例にも誤解から生ずるケースが多々見受けられます。医療行為自体には過失はなくとも医師の説明不足や言葉や対応の拙さもあるようです。以前から公平な立場での調査機関の存在が医療提供者から患者さんからも切望されていました。そこで第三者を交えた専門的な調査機関が設けられました。これは責任の有無を云々するのではなく、医学的に公平な立場から原因を究明して再発を防止することが主たる目的です。医療提供者と患者さんの中間に客観的専門的な見地から公平な解釈を介在させて、お互いの意見相違や誤解が緩和されることにより医療訴訟が減少できれば、医療人のみならず社会全体としても歓迎されると思います。発足当時にも既述しましたように宮崎県では人口に反比例して全国的に最も多い届け出件数がありました。これは県内で発生する医療事故が多かったわけではありません。言わば医療機関の管理者が制度を十分に理解して規定に従い積極的に届け出た結果です。

このように以前から比べれば一歩前進した制度ですが、それでも患者団体からは不満や批判もあるようです。制度の趣旨が充分理解されていないのではないかと思います。勿論、新たに始まったばかりの制度ですから改良すべき点はあるでしょう。医療に起因する予期せぬ死亡事例を調査した結果、医療従事者も患者さんも第三者も皆が納得できるような報告書の作成が要求されます。従いまして調査に従事される外部委員の先生方には大変な苦勞があるものと思われます。重ねて深謝申し上げます。未完成の制度ではありますが、改善を繰り返しながら今後更に、この制度が最大限に有効活用され、地域医療の向上につながることを望まれます。

(令和2年10月12日)

COVID-19報告



新型コロナウイルス感染症に係る 県医師会の動き（10月12日現在）

宮崎県医師会 常任理事 ^{よし}吉 ^だ田 ^{けん}建 ^{せい}世

全国的には、Go Toトラベルなどの影響もあり、大都市圏を中心にまだまだ第2波は続いている。しかし、宮崎県では、新型コロナウイルス感染症の新規感染者は、9月14日発生以降、約1か月間確認されておらず、また、県内医療機関での入院患者数も10月8日より0名になり、第2波は一応終息したように思える。先日、10月9日に行われた宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会でも、「事実上の第2波への対応のまとめ」が示され、これまでの対応の反省点が議論された。

今後のインフルエンザ流行期にむけて、国が新しく方針を打ち出している。インフルエンザ流行期は、新型コロナウイルス感染症との鑑別が必要なために、インフルエンザとコロナの両方の検査が必要となる。そこで国は、これまで行っていたコロナの行政検査を、クラスター発生時の患者検査や濃厚接触者の検査に限定して、一般の発熱患者の検査は、保険適応検査を使い、「かかりつけ医などの地域で身近な医療機関」で診療・検査を行っていくことを考えている。発熱患者は、まずかかりつけ医などに電話で相談し、そこが自院または一般検査機関にて検査が可能であれば、コロナの検査を行い、陽性であればこれまで同様に保健所に対応してもらい、陰性であれば、かかりつけ医などが診療を行うようにする。『診療・検査医療機関（仮称）』と呼び、県は、できるだけ多くの医療機関の参加を求めている。公表は同意したところのみHPなどで公表するとしている。

延岡市など、地域によっては、検査を1か所に集約して行うこととなっており、その方が医

療機関の感染リスクは少なくなるメリットもあるので、各地域別に対応していただきたいと考える。

10月12日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

1 会議等

- 9月15日 次のインフルエンザ流行に備えた体制整備に関する打ち合わせ（濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事）
- 9月28日 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議（濱田副会長、吉田常任理事）
- 9月29日 各郡市医師会長協議会（会長他）
- 10月6日 各専門分科医会長会（会長他）
- 10月9日 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長、吉田常任理事、峰松理事）
- 10月11日 公明党山口那津男代表への要望（会長）

そのほか、常任理事協議会、全理事協議会、六役会などにおいて協議を重ねている。

2 日本医師会からの情報収集

- 9月15日 都道府県医師会長会議【日医TV会議】
- 9月24日 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】

3 会員への情報発信等

FAXニュースの発信

9月16日	FAXニュースNo.463 新型コロナウイルス感染症への対応について (34) ・慰労金・支援金の申請をお忘れなく。すべての医療機関が対象です！ ・マスク等優先配布の休止について ・保険適用検査の契約について
9月24日	FAXニュースNo.464 新型コロナウイルス感染症への対応について (35) ・今冬のインフルエンザワクチンの優先的な接種対象者への呼びかけ ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第3版」について ・日医発行「みんなで安心マーク」について
10月8日	FAXニュースNo.465 新型コロナウイルス感染症への対応について (36) ・全医療機関対象「診療・検査医療機関」の指定に向けた調査について ・診療・検査医療機関に指定された場合 ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針第1版」のご紹介

4 マスク、手指消毒用エタノールなどの確保と配布

主に各郡市医師会を通じて新型コロナウイルス感染症対策に必要な医療機関に配布を行っている。今後も優先配布の要望を行う。

9月21日	アイソレーションガウン (31,600枚) 【国支給】	9月29日	マスク (18,000枚) 【SOMPOひまわり生命(株)宮崎支店】
9月28日	フェイスシールド (6,300枚) 【国支給】	10月5日	アイソレーションガウン (36,600枚) 【国支給】

※フェイスシールド、アイソレーションガウンの国支給につきましては、一旦終了を予定しておりますので、各医療機関での確保・備蓄対応をお願いいたします。

5 患者発生状況

1) 感染者数（9月15日以降） 0名

※令和2年10月12日 13時現在

新型コロナウイルス感染症対策に関するご寄付・ご寄贈

心より感謝を申し上げます

新型コロナウイルス感染症対策のために
県医師会へご寄付・ご寄贈をいただきました。心より感謝を申し上げます。

9月29日

SOMPOひまわり生命保険(株)宮崎支店 様
マスク 18,000枚



日州医談



医事紛争について

常任理事 小 牧 ひとし 齋

はじめに

医事紛争とは、医療行為全般に関連して発生した患者側と医療者側のトラブルといえます。近年その数は増加傾向にはないといわれますが、示談交渉による和解案件は増えているようです。背景には、事故発生時の医療機関の院内調査や、リスクマネジメントへの理解が進んできていることがあげられます。県医師会の担当理事となり、毎年1回開催される「日本医師会医事紛争担当理事連絡協議会」に出席していますが、昨今の医事紛争の現状と課題について報告します。

現状について

医療訴訟の現状を昨年度の「日本医師会医事紛争担当理事連絡協議会」の資料¹⁾からごく一部を報告します。

1. 日本医師会医師賠償責任保険の経過報告の中で、紛争処理受託件数は平成15年度をピークに減少傾向である。
2. 賠償責任審査会を経て有責とされた件数(平成21年～令和元年)の割合は72%であった。
3. 上記件数での紛争形態として訴訟29%、交渉・調停が71%となっている。
4. 診療科別件数では、内科、産婦人科、整形外科、眼科の順で多い。
5. 解決事案における最大解決金額として1億を超えるものが数件みられている。

一方、宮崎県の医事紛争の受付件数については、平成20年度以降最少で7件(平成29年度)、最大で26件(平成20年度)となっています。

基本的な考え方

医事紛争における基本的な考え方について注意・理解しておくべきことが第30回臨床内科医学会記念誌²⁾に書いてありましたので抜粋して記載します。

1. 採血、注射、検査、投薬、手術などの医療行為は、刑法でいう「傷害」行為にあたる。
上記医療行為は、インフォームド・コンセントを尽くされたうえで同意が得られていて初めて正当な医療行為とみなされる。
2. 上記の医療行為に対し、もめごとが起こった場合、民事上の責任として、過失責任すなわち注意義務違反があったかどうか問われる。
3. 過失の有無は、「医療水準」という基準が使われる。すなわち「臨床現場における実践としての水準」と定義づけられる。そのもととしては、ガイドライン、添付文書、教科書、論文などが引用される。そのためガイドラインから外れた医療を施すには、必要性・安全性を考慮して、合理的な根拠と説明義務の遂行がなされていることが必要となる。
4. 医療行為などでの問題が起こった時点で、すぐ謝罪すること、医療費の免除は医療ミス・落ち度を認めることになる。

医事紛争をおこさないために³⁾

紛争における医療側の要因として、診療録の不備、医療知識・技術の未熟性・独善性、チーム医療の未熟性、インフォームド・コンセントの不足、事故対応の未熟性などがあげられます。そのこととは別に医療行為の結果が悪ければ患者側は医師に不信を抱きますので、常日頃の患者とのコミュニケーションをしっかりと保つ必要があります。説明し同意を得る際、わかりやすい用語や図を用いた説明が必要になります。よく用いる医療用語で、炎症、ヘルニア、ショック（単純に“驚き”と捉える）などは患者側にとって理解困難な用語になるようです。また合併症、医療事故、縫合不全などは医療側の不注意・落ち度により発生するものとしてとらえられがちです。医療側の思惑とは違う理解がされてしまうことを知っておくべきです。

ここでカルテ・同意書の重要性について触れます。カルテはただ単に医師の備忘録、保険請求事務の記録ではありません。医事紛争が発生した場合には診療の内容を証明する重要な記録で唯一医療者を守ってくれる武器になるものです。第三者にも理解できるように診療の内容（主要症状・診察所見・検査所見・治療方法・説明内容・指導を行った具体的事項・今後の方針など）を患者から同意を得たかどうかを含め記録する必要があります。最近電子カルテの普及で、医療情報がしっかり読み取れるようになり、事実認定においてカルテ記載の重みが更に増してきています。同意書については、説明文書をあらかじめ作っていたものにサインしてもらうだけのものでは不十分となります。個々人に応じ理解を得られた文書が必要になるようで、注意を要するところです。

医療訴訟の変化

近年増えている事案として、医療の専門分化や高度化に伴うもの、誤嚥・転倒・褥瘡の発生・薬物治療や術後管理などの高齢者医療をめぐるもの、介護施設における管理の問題、終末期医療における看取りに対する意見の相違によるもの、画像診断報告書における見落としや診療科間における連係ミスによるものなど、これまであまり経験してこなかったタイプの紛争における医療訴訟が起こされてきている⁴⁾とのことです。

おわりに

医事紛争については、医療者側も情報誌、専門誌などを通して、実際の判例・事例報告などを学んでおく必要がある時代になっています。一方紛争の芽を早期に摘むという意味で、医療メディエーターを育てること、院内での医療安全教育を徹底することなど体制づくりが大事になるかと思います。今後もなくならないであろう医事紛争に対し日頃より心の備え・体制づくりを怠りないようにしておきたいものです。

参考資料

- 1) 「令和元年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会」資料。日本医師会。2019
- 2) 水島幸子「かかりつけ医に関連した医療紛争・医療訴訟の現状と対策」第30回日本臨床内科医学会記念誌P174-185。2017
- 3) 水澤亜紀子「トラブル予防・対処の心得」日経メディカル編：医療訴訟のここがポイントP9-45。2015
- 4) 特集「新型」医療訴訟がやってきた：日経メディカルP52-P69。2020.01

随 筆

表彰状、感謝状—転居異間（その4）

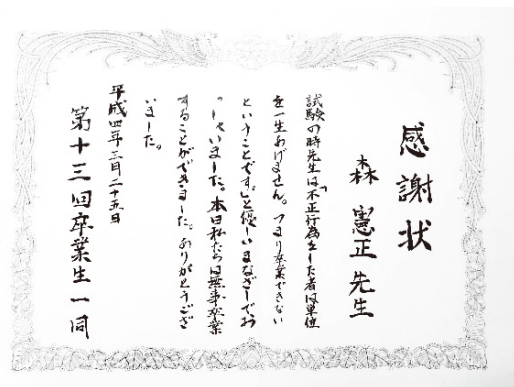
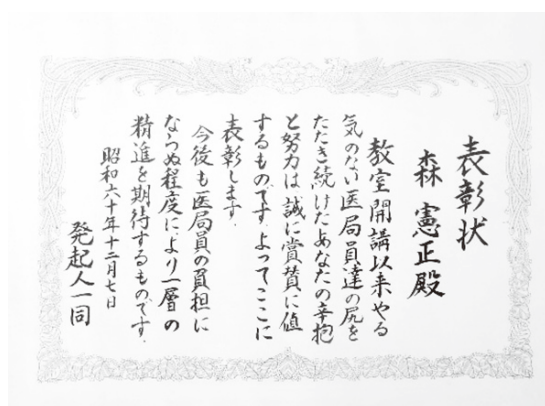
宮崎市 ^{もり}森^{のり}憲 ^{まさ}正

卒業証書、医師免許証、学位記などの大事な証書類は特別必要なときに取り出す程度で、それらの保存には気を遣ってきた。大型で、折り込むことも躊躇されるし、円筒状の容器に押し込んで保管する以外いい方法がない。なくしてはいけないと注意するあまり、気にし過ぎてどこに仕舞い込んだか分からなくなって、必要なときに応じて探すのに困ったこともあった。次第に黒い筒状の入れ物が増えて、一か所に保管できるようになり、仕舞う場所として定席を占めることができるようになった。最近は丸めて筒に入れる旧来の証書に代わって、高級感のある証書ホルダーなどに入れて平面の状態で保管する証書が一般的となったようである。今回出てきたものは筒でもホルダーでもない直接額に入れたものである。

立派な額に納まった感謝状と表彰状であるが、出てきたときは中身が何物か想像できなかった。文面を読んでいる中に思わず、吹き出してしまった。同時に当時のことが霧が晴れていくように思い出されてきた。

医科大学開設当時やる気満々だった筆者から見ると、医局員たちがいかにもひ弱い、やる気がない青年たちのように感じられた。現在であればパワハラなどで訴えられても仕方がないと思うほど叱咤激励していたことが思い出される。負担にならない程度どころではない。分娩台の操作ができる医局員は二割に過ぎない。これでは夜間産科入院があっても即刻対応できるか心配である。連日叱咤激励し続けたが、やる気がないように見えた医局員たちは負担になら

ない程度にと軽く受け流していたのかもしれない。ウィットに富んだ医局員たちが懐かしい。



医局の活性化に何かいい方法はないかと考えるが名案が浮かばない。学会で恩師の加来道隆教授にお会いしてアドバイスを求めた。勉強しなさいとばかり言っても付いて来ない、運動も必要だ、特に皆でやる野球などどうかねとのアドバイスであった。

しかし筆者にはまともな野球の経験がない。あえて言えば、小学生時代にやった三角野球位である。二塁を省略して一塁から三塁へ、三塁

からホームベースへと三角形にして三角野球と言っていた。革製のグローブのような洒落たものはなく、素手で受けていた。ゴムは貴重品の時代でボールは布を固めて紐でぐるぐる巻いたもの、バットは拳か其処ら辺りで拾ってきた棒切れであった。布巻ボールのスピードは遅く、バットコントロールの利く拳は大きく外れたボール球でもよくヒットした。小学上級生になると三番、四番を買って出ている。巨人の岡本や、ソフトバンクの柳田よりも打率は良く、チームの頼りであった。メンバーが足りないときは、幼稚園児を飴玉で釣って外野に立たせた。チームの維持には監督兼四番バッターはいつもポケットに飴玉が必要であった。スコアボードは地面に書いた表で、9回で終わったことはなく、日没か、夕食で呼び返されてバッテリーがいなくなると試合終了であった。

中学に入ると正課の武道として剣道か柔道を選択させられ、剣道を選んだ。中学3年から課外運動ではグライダー部に入ったが、上級生が乗るグライダーを飛ばすゴム綱の引っ張り役で終り、グライダーには乗せてもらえなかった。当時の体力検定には野球紛いの遠投に手榴弾投擲、マラソンに類似した行軍競争（巻脚絆に三八式小銃を担いで障害物乗り越え）などが課せられていて、およそスポーツというものとかかけ離れていた。

自らやったこともない野球であったが、やる気のない医局員たちにやる気を出させるためには、陣頭指揮しかない。医局員は少なく、野球経験の有無を問題にすればチームが成り立たない。飴玉が有効な年齢は疾うに過ぎている。内野フライが上っても、走れば十分間に合うのに途中で走るのを辞めてセーフにしてしまう。やる気がないこと甚だしい。

しかし、やっている中に興味が出てきたのか、ある試合では珍しくヒットして打球が外野に飛んだ。思わず、走れと怒鳴ったら、この打

者も吃驚したのか猛然として走り出した。しかし走る方向が間違っていた。三塁の手前で気が付いたのか方向を変えたところで審判の無情のアウト宣告。申し分のないバッティング、やる気の出た走塁、唯走る方向を誤って、得点に結びつかなかったただだ。少しずつではあるが光が見えてきた。

昭和56年には日本産科婦人科学会九州連合地方部会の当番校として、恒例の各大学医局対抗の野球大会を開催しなくてはならなかった。始球式に備えて、夕暮れ時を狙って密かに練習を重ねた。練習の甲斐あって、投げた球はワンバウンドせずに、見事キャッチャーミットに納まったが、試合（昭和56年6月1日）は一回戦で鹿児島大学に17対3で敗れた。医局の規模、やる気の戦力から見ると、3点も入れたとは上出来である。負け惜しみではないが惨敗ではなく惜敗であった。

更に欲を出して、野球以外にも医局員の体力、団結力、精神力を高める方法はないかと考えて、思い付いたのが登山であった。八甲田山雪中行軍ではないが、厳寒の候がよろしいと決め込んで、時期的には年末年始辺りしかない。昭和54年年末から始めた。12月の土曜日、医局忘年会を兼ねてえびの観光ホテルに宿泊し、翌日早朝叩き起こして韓国岳登山に出発。第一回は総員6名の登山であった。昭和63年度まで続けることができた。記録によると昭和54年の初回だけが韓国岳で、後は高千穂の峰に登っている。

霧島連山の麓のホテル（毎年趣向を凝らして忘年会幹事の選択による）での忘年会は楽しかったが、その翌日早朝の出発はやる気のない酔いの残った医局員たちには評判が良くなかったようである。しかし賛同者もいて、初年度は6名であったが、事務・看護関係からも参加し、毎年10人以上のグループで山頂を極めた。

この表彰状の日付は昭和60年12月7日となっている。丁度開講10年目で、その年の忘年会

は林田温泉で開催された。栄えある表彰式の後には永井劇団による熱演で大いに盛り上がった。

表彰状を授与されたときは唯苦笑する他なかったが、やる気のなかった医局員のその後の活躍は目覚ましい。第二代、三代目の教授の教育、指導が功を奏して、医局員、学生からやる気を引き出して、県下のみならず、各方面で活躍できる卒業生が輩出している。

県内の医療関係名簿を見ると、県産婦人科医学会会長を初め、役員の大半を占めるようになってきた。それぞれの要職に就いて立派に職責を果たしている。

第13回卒業生からいただいた感謝状は文脈から想像するに不正行為をしなくて卒業できたという意味であろうか。不正行為をするような医師だけにはなって欲しくないという願いから、毎年試験開始前の注意事項として強調していた記憶がある。人としても蔑視すべき行為であり、徹底してきた積りであるが、試験前に注意だけして後は学生の良識を信頼して見張りをするようなことはしなかった。

市郡医師会病院も今年8月、新たな地で開院したが、昭和50年代の旧病院構想当時のことを思うと積年の感がある。旧市郡医師会病院設立当時の医科大学はまだ非力で、その構想、設計などに関してはお呼びではなかった。開院後の運営も当時の医師会役員の出身大学医局から派遣されてきた医師たちで運営されていた。勿論、医科大学附属病院も開院したばかりで、各科ともその運営にお呼びがあっても十分応える余裕はない状況であったと思われる。新装になった病院の院長、緩和ケア科長以下その他の医員の半数以上は地元医学部、医局関係者という。

転居後、立ち寄ってくれた永井緩和ケア科長に達筆の表彰状を見ていただいたら、ご尊父の書であることを明かしてくれた。

やる気のないように見えた医局員たちが立派にその職責を果たしていることを見届けること

ができて、感謝状を眺め乍ら長年の夢が実現したような気がしている。

昭和49年開学以来、すでに46年が経過した。色々な思い出が脳裡を過るが、この表彰状と感謝状は筆者にとって他のいかなる賞状にも代え難い宝物である。



私 の 本



宮崎市

たか さき ま ゆみ
高 崎 眞 弓

医 療 概 論

—医療従事者のコモンセンス14章—

発行所：総合医学社

定 価：2,700円＋税

宮崎大学を辞めてから、延岡市の九州保健福祉大学および宮崎市の九州保健福祉大学総合医療専門学校でメディカルの養成にかかわってきました。管理業務ばかりでなく、指定科目の「医学概論」または「医療概論」を教えてきました。

講義でなにを教えるべきか、手に入る10冊ほどの教科書に目を通しました。内容はどれもこれも大変難しい。大半の著者は医師で、医学生にちょうどよいように見受けられました。

国家試験の難易度は、受験する専門職で異なります。すべて同一ではありません。難しいところもやさしいところもあります。しかし、既存の教科書は、難しい専門職を受験しようとする人にも難解だと感じました。

編集者とこんな話をしていたら、ぜひやさしい教科書を書いてほしいと頼まれ、これまでの講義ノートをもとに、昨年末に『医療概論』を上梓しました。

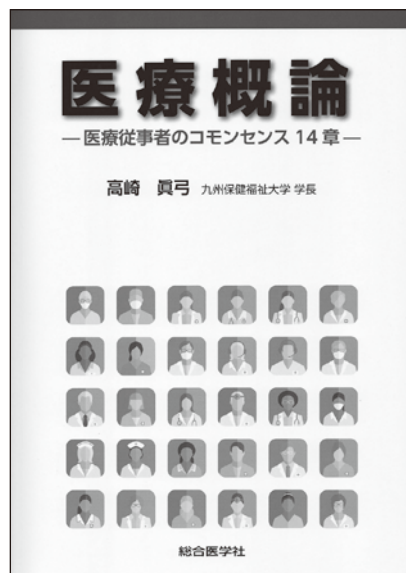
看護師と理学療法士を志望する2人の1年生に話し、終わりに質問を受ける形式で、きわめてやさしく書きました。2色刷り、一部4色刷りで、値段の割には美しくできあがりました。

章立てを示すと次のごとくです。

- 第1章 健康の維持は食生活と運動習慣にある
- 第2章 なぜ病気になるか
- 第3章 なぜがんになるか
- 第4章 病気の診断はどのように行われるか
- 第5章 さまざまな治療法がある
- 第6章 近代医学は消毒法と麻酔法の発見から開花
- 第7章 医療はチームで行う
- 第8章 治療法は患者が決める
- 第9章 医療を安全に行うにはどうするか
- 第10章 日本の医療制度は世界一か
- 第11章 病気予防のための対策はあるか
- 第12章 医の倫理とはなんだ
- 第13章 脳死があって臓器移植がある
- 第14章 死への対応をどうするか

このような14章で、講義のほかに1回、『パッチ・アダムス』か『シッコ』のDVDを観てもらい、15回の講義が終了することになります。

ここまでお読みいただいた方の中には看護学校などで講義を担当されている方もおられるでしょう。ぜひご覧いただき、利用していただければ誠に幸いです。



私が推薦する本

青春の墓標
ある学生活動家の愛と死宮崎市 大西医院 おおにし ゆうじ
大 西 雄 二

1965年に刊行された。奥浩平は1943年生まれ。1963年に横浜市大文理学部に入学。マルクス主義学生同盟は中核派と革マル派があり元は同じである。1963年に分裂して中核派は街頭闘争で戦いを繰り広げ、革マル派は労働組合の組織化を進めた。彼は中核派に加盟し、学生活動家として闘争を続けた。1965年2月羽田で警官隊と衝突し入院。退院し10日後に服毒自殺をした。21歳6か月であった。机の上には『資本論』が開かれていた。握り締めた一輪のカーネーションの花があった。女性の中原素子は早稲田大法学部に進学し、革マル派のシンパであった。中原素子への手紙

(1963年6月21日のノート)

「中原は同盟員となり、オレは中核派に身を置こうとしている。ああ、生きることはかくも厳しく闘うことなのか。かくも激しく分断されることなのか」。

(1964年12月8日の手紙)

「さようならと総括。あなたはどうしても私の心の飢えを満たしてくれるただ一人の女性でした。なぜ中核の女の人を好きにならないの?—という問いにもう一度答えておきます。あなたを愛していたからです。この世の中には、しかし、どうしても愛し合えない男女があるようです。さようなら」。

現実の秩序を根底から覆そうとする変革の志と、ひとりの女性への無限の愛であった。

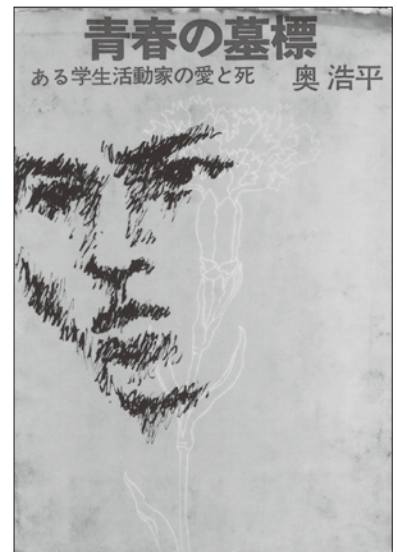
私自身の思い出が交錯する。『チボー家の人々』(マルタン・デュガール作)はよく読まれた。

1960年代は揺れ動く世代だ。私は昭和40年代に東京に遊学した。20歳代であった。全共闘運動による意義申し立ては全国に拡がった。学園は荒れ、社会を変えることを使命として殉じた最後の世代である。敏感で誠実な青年たちに過剰な反応を強いた。私の青春は挫折と敗北に彩られている。やがて内ゲバなど多発し、先鋭化し市民から離れた学生運動の限界を感じた。爆弾闘争や浅間山荘事件などの敗北の歴史を考えると、「全共闘はよかった」という人を信じることはできない。

劇作家の福田善之氏は「彼は日本の最良の息子の一人だった、と思う。(中略)そう、たとえばチボー家のジャックを連想させるような、かがやかしい21歳が、ゆたかに息づいている」。

東京の山手線駅構内のホームに立ち、電車がすべりこむように入って来る時の風圧と轟音の中で、一瞬時が50年以上前にもどったように錯覚してしまう。

とうに70歳を過ぎた私は、彼を今も「最良の息子」だったと思う。「最良の息子」がなぜ死を選ばなければならなかったのか。



著 者 奥 浩 平
出版社 文藝春秋新社

「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和3年1, 2月号に企画いたしております。
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)
字 数 800字以内(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことが
ありますのでご了承ください)

締 切 令和2年12月7日(月)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載、または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

エコー・リレー

(543回)

(南から北へ北から南へ)

防災に備える

宮崎市 ひなた赤ちゃんこども よこ やま あき こ
クリニック 横 山 晃 子

9月1日は「防災の日」、この日を含む1週間は「防災週間」である。大正12年9月1日の関東大震災、昭和34年の伊勢湾台風などをきっかけに定められたそう

だ。原稿を書いている今週は防災週間であり、更に2日後に巨大な台風が接近すると言われている。

私個人の防災の備えは数年前に適当に見繕ったもので、今回の台風に耐えられそうにない。「水電気ガスが数日使用できないときに必要なもの」を揃えるべく買い物へ向かった。ところが、というかやはりというか、水や保存ポリタンク・養生テープ、調理不要な食料品などはすでに売り切れだった。結局、水は手持ちの容器で備蓄することにし、電池とカセットコンロ用ボンベを2～3軒回って手に入れた。

非常持ち出し袋の方は、感染対策が日常化したこの状況では、衛生用品が不十分だと感じ補充した。常備薬は使用期限外のものがあり反省点である。緊急性はないが、冷感タオルやドライシャンプーなどの新しい製品は、余裕があるときに入れ替えを検討してもよいと思った。ちなみに、手元に充電式扇風機、保冷剤、冷感スプレーがあったが、これで暑さ対策が十分なのか疑問である。

幸いこれらを使用せずに済んだ台風一過。困ってからやっと行動する自分を反省しつつ、他の家の状況や避難所に宿泊した人の話から学ぶところがあり、また、防災の日に毎年見直しをするきちんとした人がいると聞いて本当に感心し、防災を考えるいい機会となった。

[次回は、都城市の柳田かえで先生をお願いします]

開業の後押しをしてくれた石段

宮崎市 いしだ整形外科 いし だ やす ゆき
石 田 康 行

2017年、5月の連休に、食いしん坊の私は讃岐うどんを食べに香川県に行きました。有名な金比羅宮を参拝しました。石段が大変だと聞いていたのですが、一度は挑戦してみようと登り

始めました。

左右に出店があり、ゴールだと思わせる大門が見えました。そこに到着するとさらに奥に参道が続き、またゴールと思わせる門がありました。そこに達するとさらに左へ続けました。ゴールだ、いや、まだ続くが5回ほど繰り返しました。新規開業を迷っていた私は、登りながら人生を教えてもらっている気がしていました。開業せず組織に残り、後輩を育てることは、自分が登ってきた道を引き返し、後輩を導いてあげること。新しい道にチャレンジすることは、どこまで続くかわからない道を不安を抱えながら、さらに登っていくこと。確かに登ってきた道を降りていくことは、経験してきた道なので不安もなく安全で後輩にも喜んでもらえます。新しい道はどこまで続くかわからず、不安で、登り続けられないといけません。しかし、登っていくと、これまでには見たことがない景色が見えてきます。私は見たことがない景色が見たくなりました。

開業して1年半が経ちました。多くの新しい景色が見えます。これからどんな景色が見えるのか、きれいな景色が見たいものです。自分のペースで登っていきます。次に金比羅宮に行ったとき、そのときの私は何を感じるのか楽しみです。

[次回は、宮崎市の近間 浩史先生をお願いします]

メディアの目

じんかん せいざん
人間到る処青山あり西日本新聞 宮崎支局長
さ えき ひろ ゆき
佐 伯 浩 之

宮崎に来て1年。穏やかな土地柄に癒やされることはしばしば。宮崎を経験した先輩記者が「人が優しい土地だから、勤務しやすかった」と評していたことを思い出す。

先日、日南市油津の地域づくり会社「油津応援団」社員の杉本恭佑さん(29)と話をした。会社は、昭和期に繁栄した油津商店街の活性化を目指し、IT企業の誘致に加え、かつての喫茶店を復興させる「ノスタルジー」を融合した「新機軸」を実践している。杉本さんは仲間と協力して活動しながら古書店を運営している。今回、新型コロナウイルス禍でオンライン授業を強いられている全国の大学生を対象に、来年2月末まで日南市内に滞在、学習してもらう企画を立ち上げた。授業はオンラインで受けつつ、インターンシップなど地域との触れ合いを通じて学生生活の充実化を目指してもらうというものだ。全国から数人が集まる予定という。

杉本さんは熊本県玉名市出身。有明高専(福岡県)から宮崎大学工学部の3年生に編入した。入学時、杉本さんには友人がいなかった。途中から学部に入ったから無理もない。「寂しかったですよ」と当時を振り返る。そんなとき、知人の誘いが学生生活を変えた。宮崎市の中心

部商店街の活性化イベントを手伝った。地域づくりに汗を流す商店主、イベント開催前に夜遅くまで手伝うボランティア…。奮闘する人たちは輝いていた。「人との出会いが楽しかった」。勉強そっちのけで、活動にはまりこんだ。

一時、宮崎を離れて東京でサラリーマン生活を送ったが、宮崎での生活は忘れられなかった。「宮崎の人と土地が好きになった。いずれ宮崎に戻るつもりだった」と一念発起。脱サラし、知人がいた日南市で昨年、地域おこし協力隊員として活動後、今の自分の居場所を見つけた。「宮崎で出会った人たちが、自分の生き方を決定づけた」と語る。今回の企画は、自分より若い世代に宮崎を感じてほしいとの願いがある。宮崎大学生だったのときの自分と、今の大学生を取り巻く環境を重ね合わせているのかもしれない。

「人間到る処青山あり」。人はどこにでも骨を埋める地があるから、故郷を出て活躍しなさいということわざだ。杉本さんの生き方はこれを実践しているように思える。この原稿が掲載される時、参加大学生が日南市民と交わりながら学んでいるだろう。参加者の活動がそれぞれの「青山」を探す一助になることを願っている。

宮崎県感染症発生動向 ～9月～

令和2年8月31日～令和2年9月27日（第36週～第39週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核3例（男性3例）：宮崎市，都城，日南（各1例）保健所管内から報告があった。病型は肺結核（2例）と結核性胸膜炎（1例）で，年齢は70歳代が1例，80歳代が2例であった。

3類：報告なし。

4類：○日本紅斑熱6例：宮崎市（3例），日南，小林，中央（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は50歳代，60歳代が各1例，70歳代が4例で，ダニの刺し口が確認できたのは3例であった。主な症状として発熱，頭痛，発疹，DIC，肝機能異常がみられた。

○レジオネラ症1例：日向保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，病型はB型であった。主な症状として，全身倦怠感，嘔吐，褐色尿，肝機能異常，黄疸がみられた。

○水痘（入院例）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。20歳代で，主な症状として発熱，発疹がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

○梅毒4例（男性3例，女性1例）：宮崎市（2例），小林，日向（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代，30歳代（各2例）で，病型は早期顕症梅毒Ⅰ期（3例）と早期顕症梅毒Ⅱ期（1例）であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として開口障害，嚥下障害，発語障害，瘰癧がみられた。

■指定感染症

○新型コロナウイルス感染症7例：保健所別，年齢別報告数は【表1】のとおりで，3例は症状はなく，4例の主な症状は発熱，咳，全身倦怠感，嘔気・嘔吐であった。

表1 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数（例）

報告保健所	報告数	年 齢 群					
		10歳未満	20歳代	30歳代	60歳代	70歳代	90歳代
宮崎市	5例	1	1	1	1		1
都 城	1例					1	
中 央	1例					1	

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,101人（定点あたり31.0）で，前月の96%，例年の33%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱，感染性胃腸炎及び手足口病で，減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は232人（6.4）で前月の約0.9倍，例年の約1.1倍であった。日南（18.7），延岡（11.8），宮崎市（9.3）保健所からの報告が多く，1～5歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は520人（14.4）で前月の約1.2倍，例年の約0.5倍であった。小林（25.3），中央（22.0），日向（20.8）保健所からの報告が多く，6ヵ月～2歳が全体の約4割を占めた。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	A型肝炎ウイルス（遺伝子型ⅠA）	1
	コクサッキーウイルスA4型	1
細 菌	EPEC（OUT:HUT）	1
	Salmonella Braenderup（O7:e,h:e,n,z15）	1
	Salmonella Oranienburg（O7:m,t:-）	1

■月報告対象疾患の発生動向〈2020年9月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人（2.9）で、前月比100%と横ばいであった。また、昨年9月（2.2）の131%であった。

《疾患別》

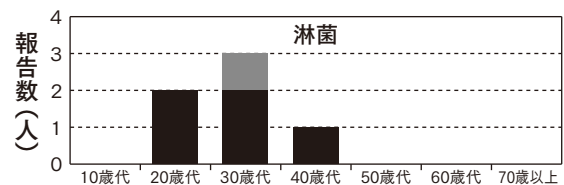
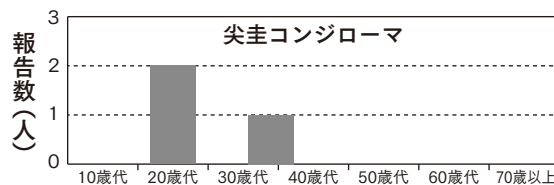
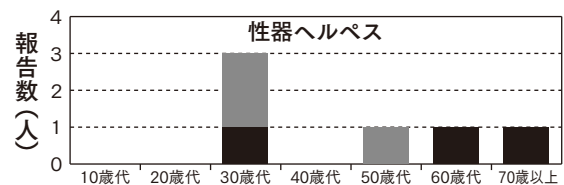
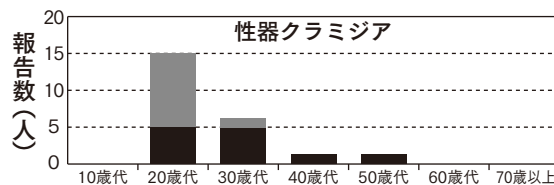
- 性器クラミジア感染症：報告数23人（1.8）で、前月の約1.2倍、昨年9月の約1.4倍であった。20歳代が全体の約7割を占めた。（男性12人・女性11人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月の0.5倍、昨年9月の約0.9倍であった。（男性3人・女性3人）
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月の1.5倍であった（昨年9月は報告なし）。（女性3人）
- 淋菌感染症：報告数6人（0.46）で前月の1.5倍、昨年9月と同じであった。（男性5人、女性1人）

前月との比較

	2020年9月		2020年8月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	1	0.0	0	0.0	
咽頭結膜熱	52	1.4	34	0.9	
※溶レン菌咽頭炎	232	6.4	266	7.4	★
感染性胃腸炎	520	14.4	434	12.1	
水痘	26	0.7	17	0.5	
手足口病	45	1.3	27	0.8	
伝染性紅斑	1	0.0	3	0.1	
突発性発しん	112	3.1	105	2.9	
ヘルパンギーナ	95	2.6	165	4.6	
流行性耳下腺炎	14	0.4	13	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	3	0.5	17	2.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は23人（3.3）で、前月比115%と増加した。また、昨年9月（2.6）の128%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数22人（3.1）で、前月の約1.1倍、昨年9月の約1.2倍であった。60歳以上が全体の約5割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人（0.14）で、年齢は0～4歳であった。（前月及び昨年9月の報告なし。）
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各都市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

なか むら あき のぶ
会 長 中 村 彰 伸

今年4月に書面決議による医師会総会で会長に再任され二期目の医師会運営を託していただきました。今回は執行部に小児科の先生に参加いただき、小児科のお立場から医師会の運営や学校保健におけるコロナ対策に協力いただいています。また理事の中にウイルス専門の先生がおられ、医療のあり方や、住民への広報活動、行政への助言などのご意見をいただき本当に助かっています。執行部会や理事会は、感染防止対策に十分に配慮したうえで開催していますが、学術講演会や研究会など多数の参加が見込まれる会合は中止が継続しており、会員の先生方にご迷惑をおかけするとともに不利益を強いることとなり心苦しい次第です。感染防止対策をしたうえでの開催様式を模索していますが、満足できる開催様式が見出せない状態です。ただ南那珂においては、7月に5名の感染陽性患者を確認しましたが、宮崎や延岡、高鍋で陽性確認が連日続いていた時期においても南那珂では陽性者ゼロの日が続いております。周辺圏域から地理的に、また交通アクセス的に隔絶されている田舎であること、人口が少ないこと、住民が流行地への往来を極力控え、感染防止を徹底したことなどが要因として考えられます。県内も9月中旬以降感染者ゼロの日が続いていますが全国的には東京を中心に感染者が相次いでおり、第3波がいつやってくるのか、コロナに対する確実な治療薬がない現状では不安が尽きない状態です。これからインフルエンザ流行期を迎えますが発熱患者さんに対し、今までとは違った対応をせざるを得ません。厚労省が、これまでの保健所の位置付け役割を変更し医療現場の判断が優先されるようになりました。先生方に臨機応変に対応していただけるよう、医師会として県医師会や行政と密に連携を取りつつ、必要な情報を提供し、サポートしていきたいと考えます。



南那珂医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年5月29日定例総会終結後～令和4年6月定例総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	中村 彰伸	眼科	中村眼科	総括
副会長	河野 秀一	内科	河野医院	総括補佐, 学術・生涯教育, 病診連携, 産業医
”	川西 昭人	脳神経外科, 神経内科, リハビリテーション科	かわにし脳神経外科	総括補佐, 医事紛争, 救急医療, 会計, 医師国保
理 事	山見 信夫	小児科	山見医院	総務, 災害対策, 園医
”	黒木 和男	内科・消化器科	串間市民病院	病診連携
”	山口 幹生	内科	山口内科クリニック	急病センター, 学校検診（心臓・腎臓）
”	中津留邦展	内科	日南市立中部病院	病診連携
”	峰松 俊夫	内科, 基礎医学（ウイルス学）	愛泉会日南病院	宮崎県医師会理事, 感染症対策, 医療情報システム
”	木佐貫 篤	病理診断科	宮崎県立日南病院	病診連携
”	福岡 周司	循環器内科, 内科	福岡医院	学校医, 医師国保
”	加藤久仁彦	内科	吾社クリニック	串間在宅ケア研究会
”	飛松 正樹	内科, 小児科	にちなんファミリークリニック	保険, 介護保険, 日南在宅ケア研究会
監 事	津曲 俊郎	小児科, アレルギー科	津曲小児科医院	
”	満留 武宣	眼科	みつとめ眼科	
議 長	百瀬 文教	外科	百瀬病院	
副議長	井手 秀幸	外科, 内科, 胃腸科, 肛門科	井手胃腸科・肛門科	

* は新任

各都市医師会だより

西 諸 医 師 会

会長 うちむらだいすけ
内村大介

令和2年6月26日の第9回定時総会後に臨時理事会において会長に再任され3期目がスタートいたしました。花田武浩副会長、莫根隆一理事の2名が退任され、副会長には前理事の井尻裕司先生、また理事には新たに川井田望先生が就任されました。退任された先生方にはこれまでの2期を支えていただき感謝申し上げ、新たに就任された先生には新執行部の原動力としてご活躍いただければと大きく期待いたしております。

また、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともないまして政府や日本医師会はもとより多くの企業様や自治体などよりマスク、フェイスシールドおよびガウンの寄贈などのご支援をいただいております。あらためまして深く感謝申し上げます。

平成23年に小林市、えびの市、高原町と本会とで締結した「災害時における医療救護に関する協定」に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、本年4月に新たに感染症発生時に連携して医療体制を築くことを細目として盛り込みました。感染症病床を備える小林市立病院の一般入院患者を会員病院が引き受け負担軽減を図ることなどを想定しております。また、新型コロナウイルスの検査体制につきましては、これまでの保健所判断による行政検査は非常にハードルが高く、他圏域との格差は極めて大きかったと感じております。そのような中、小林市が小林市立病院内に抗原定量検査の機器を導入し、遅くとも年内までには会員医療機関が持ち込んだ検体の検査を行うなど、同院が西諸圏域の検査センターとしての位置付けで検査体制の拡充を図ることとなりました。今後の感染拡大を防ぐうえで非常に有効となることを期待しております。

この他、本会立小林准看護学校につきましては近年の入学生の減少と講師や実習施設の確保が困難になっていることを理由に今年度をもって募集を停止することとなっております。最後の生徒が卒業するまで残り2年余りとなりますが、最後までこれまでと変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

解決しなければならない課題は山積しておりますが、会員の思いをお聞きしながら新役員一同力を合わせ、地域住民が十分な医療を受けて安心して暮らすことができる街づくりに協力しようと思っております。そして、今後訪れる超高齢化社会に向けても全力で取り組んでいきたいと存じますので、皆様方には、これまで以上に多大なご指導ご支援をいただきますようお願い申し上げます。



西諸医師会新役員

役員等名簿（任期 令和2年6月26日第9回定時総会終結後～令和4年6月第11回定時総会終結時）

役職名	氏 名	診 療 科	所属医療機関	担 当 業 務
会 長	内村 大介	精神科, 心療内科	内村病院	総括
副会長	園田 定彦	内科, 外科, 腎臓内科	野尻中央病院	准看護学校の管理・運営, 医事紛争, 在宅医療, 介護, 医師連盟 〔教務委員会〕〔県医師会理事〕
* 〃	井尻 裕司	眼科	井尻眼科医院	医師国保, 医師協同組合, 税務, 会計全般
理 事	吉村 雄樹	内科, 循環器内科, 放射線科	よしむら循環器 内科クリニック	総務, 広報, 医師年金, 保健予防, 学校保健〔心臓・腎臓検診委員会〕 〔学校医部会〕
〃	坪内 斉志	外科, 消化器外科	小林市立病院	保険医療, 救急医療
〃	河内 謙介	外科	えびの市立病院	労災医, 自賠責 〔勤務医部会〕〔労災医部会〕
〃	堀 英昭	外科, 消化器外科	堀胃腸科外科医院	時間外急病診療
〃	石澤 宗純	循環器内科, 消化器内科, 内科	いしざわ 循環器内科	学術, 生涯教育 〔内科医会〕〔整形外科医会〕
〃	竹之内 剛	整形外科	整形外科前原病院	地域医療, 産業医〔産業医部会〕
〃	寺谷 威	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	整形外科 押領司病院	厚生, 労務
* 〃	川井田 望	内科, 消化器内科, 外科, 肛門外科, リハビリテーション科	川井田医院	健康教育〔有床診療所協議会〕
監 事	高崎 直哉	皮膚科	高崎皮膚科医院	
〃	丹 光明	内科, 外科, 皮膚科	丹医院	
議 長	志戸本宗徳	内科, 呼吸器科, 消化器科	京町共立病院	
副議長	榎 健一郎	糖尿病内科, 呼吸器内科	榎内視鏡内科医院	

* は新任

国公立病院だより

都農町国民健康保険病院



たての すすむ
立野 進 院長

【新病院完成】

院長として当院に赴任してから21年が経過した一昨年（2018年）4月に築45年の旧病院の西側に待ちに待った（もうできないのじゃないかと思っ

ていた）新病院ができあがりました。周囲の景観にマッチした落ち着いた色合いの二階建ての外観と、明るくゆったりとした空間でありながら機能的にレイアウトされた設計に満足しつつ、毎日気持ちよく働かせてもらっています。

病床数は61床（一般病床30床 地域包括ケア病床31床）と2種感染症病床4床の計65床で以前と同じ規模です。新規導入した電子カルテシステムの操作には当初は職員一同（特に老院長）が大いに戸惑いかつ苦戦しましたが、何とか使いこなせるようになり、現在ではその恩恵に浴しています。同時に院外処方導入にも踏み切りました。こちらも利用者の皆さんの混乱と苦情を覚悟していたのですがスムーズに移行できました。

【まちづくり協定と地域医療学寄付講座】

そして同年8月には全国から寄せられた多額のふるさと納税の一部を原資として都農町と宮崎大学の間で「町づくり団体」を設立し、医学部の地域医療・総合診療医学講座と地域資源創成学部の地域経営学講座の寄附講座も設け、「医療・保健・介護・福祉」、「産業振興・地域

振興」、「教育・人材育成」の分野で連携、協力していくという画期的な協定が結ばれました。

その後、医療の分野では町および病院と大学地域医療学講座の間で医学生研修、あるいは「ごちゃまぜ師」と呼ばれる医療・福祉連携の仲介者の養成、町内でのいろいろな講演会の機会、更に全国の総合診療医、家庭医の活躍する場や医師養成の場の視察（アメリカ オレゴン健康科学大学を含む）などを介して、今後の方向性を様々に検討した結果をもとに今年（2020年）4月に3名の総合診療医が当院に派遣されることになりました。病院は長年にわたり内科医不在の状態でしたので、一度に3人ものオールラウンドプレイヤーが来てくださって万々歳といった心持でした。同時に非常勤で勤務していただいていた眼科医の後輩の若手医師が常勤で眼科診療を引き継いでくださることとなり、はるばる大阪からサーフボードを抱えてやってきてくれました。しかも「眼科診療だけでなく総合診療医としてのキャリアを当院で身につけ、地域医療に貢献したい」という願ってもないお土産を携えて…。

ということで総合診療科3名、外科2名、整形外科1名、小児科1名、眼科1名の8名の常勤医と大学からの外科、放射線科のお手伝いを受けるというかつてない陣容で新年度が華々しく始まり、病院内外での新しい動きがみられることに大いなる期待があった船出でした。

【コロナ禍】

コロナ感染症に対しては指定医療機関として2月以降たびたび対策会議を開き、外来診察・検査の手順、入院の手順や入院後の対応、防護具の備え・装着訓練などのさまざまな対策と準備を行っていました。最新設備の感染症病床は

問題なかったのですが、予備の収容病床5床については一般病床との間が廊下でつながっており、空気の流れを遮断するものがないのが不安だという看護師さんの意見に応じて、腕に覚えのある建築士の元事務長さんが立派な仕切り扉と予備室のあるゾーニングを設計するとともに一人で工事も施工してくれました。

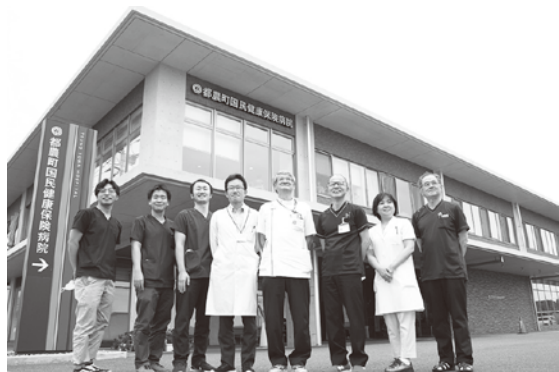
初期は情報に不確定要素が多く、他の医療機関や住民から当院が当てにされるのも仕方なかったことではありますが、感染疑いの症状のある方、不安のある方の多くが他院で敬遠され、「当院で診てもらいなさい」、「当院でPCR検査してもらいなさい」と来院されるような状況でした。そしてついに7月22日、夕方の会議が終了し一息ついた直後に突然、保健所から一本の電話「PCR陽性者が出ました」（県内23例目）。「やっぱり来たか」でした。その後、県内初のクラスターの発生が続き、一時期は感染症病床に4名、予備の病床に6名、（家族発生患者）計10名が同時に入院しているという状況もありました。また身障者施設の患者さん、介護施設の患者さんの入院も要請され、管理に心配もあったのですがやむなく承諾、特に問題なく経過し、ほっとしたこともありました。結局、8月末までの約1か月に計20名の患者さんを収容し、いずれも軽症かつ経過良好で退院となったことは幸いでした。まだまだ今後のことはわかりませんが、ひと段落ついた今、自身の感染の不安もある中で診療にあたってくださった医師、看護師、その他すべての病院関係者に心からお礼を申し上げます。特に医師は総合診療医の皆さんがいなかったらどうなっていたらうかと冷や汗の出る思いです。今後入院の基準が変更され、無症状や若年者、持病のない方は自宅療養や宿泊施設での療養の方針とされるとの

ことですが、この地域で患者さん本人や家族がそれを受け入れてくれるだろうか？ 本当に病院負担が軽減するだろうか？ 何よりもコロナが収束に向かうだろうか？ …心配は続いています。

【今後への期待】

当院は2019年9月に公表された再編統合の検討を要する全国424の公立病院にあげられました。評価の基準やデータのとり方には極めて不満はあるとはいえ名前が挙げられたからには今後の生き残り対応策は必要です。具体的には、従来以上に多様な疾患を高いレベルで扱えるような病院になること、今回のような感染症で果たした当院の役割があること、医学生、医師の研修の場としての役割があること（その中心には多くの方が総合診療医もいいなという体験をしていただきたいという大きな期待があります）、町なかに打って出て、いろいろなものをコーディネートする役割を発揮することなどが挙げられます。更なる努力が必要と自覚しています。都農町は今年町政100周年の大きな区切りの年でした。今後の発展に注目しておいてください。

【追伸 院長募集中です！】



宮崎大学医学部だより

病理学講座 －腫瘍・再生病態学分野－



かたおか ひろあき
片岡 寛章 教授

腫瘍・再生病態学分野（旧病理学第二講座）は、教室の礎を築き上げられた故 河野正初代教授（名誉教授）から、2001年に片岡寛章教授が引き継ぎました。現在の陣営は教授以下、助教3名、医員1名、病院病理部所属の

助教1名、大学院生4名（うち2名は医員）、客員研究員1名、技術職員1名、技能補佐員2名です。加えて、検査部所属の助教1名と非常勤講師1名が病理診断学の指導に携わってくださっています。また2018年の秋より、片岡教授は医学部長を兼任しています。

臨床面では、構造・機能病態学分野（旧病理学第一講座）と協力して、病理診断と病理解剖とを隔週交代で担当しています。各科との連携として、骨髄、婦人科、泌尿器科、呼吸器、肝臓、頭頸部および神経放射線の各カンファレンス、遺伝子検査におけるエキスパートパネルに参加しています。病理診断に関しては、規約改定や細分化する診断、コンパニオン診断、がんゲノム医療に則した詳細を求められるケースなど、少人数で全科に対応するうえで困難を感じる局面が多くなっていますが、患者さんに本当に重要なことを考察し、総論を忘れずに、病態を正しく反映した診断報告を行いたいと心がけています。当教室出身者が宮崎県立延岡病院や検査機関で病理医として活躍されており、更に、福岡大学では鍋島一樹教授、島根大学では丸山理留敬教授、山口大学では伊藤浩史教授が、それぞれ本教室出身の病理学教授として活躍されています。

学部教育においては、構造・機能病態学分野と分担して、3年生への系統講義、実習、5・6年生の臨床実習を担当しています。加えて、

4年生への臨床腫瘍学の講義や大学院における講義、宮崎大学がんセミナー、更には本学看護学科や県内の医療系専門学校の教育にも協力しています。また3年生の研究室配属において、病理学の奥深さはもちろんのこと、研究の面白さ、科学的な考え方の重要性を伝えることを強く意識して指導しています。

研究面では開講以来、癌の浸潤・転移分子機構の解明に取り組み、特に癌細胞周囲微小環境におけるプロテアーゼによる増殖因子をはじめとする生理活性物質のプロセッシングとその制御に関する研究を行ってきました。近年は細胞膜結合型セリンプロテアーゼの活性制御機構と、その破綻で生じるさまざまな上皮組織の病態（炎症、発癌、癌の浸潤・転移）を集中的に解析しています。そのためのさまざまな遺伝子改変マウスも、教室員が一致団結して作製し、世界に先駆けた研究を行ってきました。片岡教授はこれらの成果を2017年の日本病理学会総会で宿題報告として講演する栄誉を授かり、日本病理学賞を受賞しました。最近では、オルガノイド培養、患者腫瘍移植（PDX）モデルの導入によって、より生体内現象を反映した解析を進めています。また、膠芽腫をはじめとする難治性癌における新規機能因子の探索にも取り組んできました。加えて、現在猛威をふるっている COVID-19 における新型コロナウイルスの細胞内侵入に、これまで当教室が研究してきた細胞膜結合型セリンプロテアーゼが必要であることから、この制御にむけた共同研究を国立感染症研究所ウイルス第三部と開始しました。

病理学は、基礎医学として病態の解明を使命とし、医学教育では医学生が病気を学ぶ入り口となる、医学の屋台骨であるとともに、病理診断科として臨床各科との密な連携を要求される、まさに臨床と基礎の橋渡し領域です。病理診断、教育、研究のいずれにも偏重することなく、より一層地域の医療に貢献するべく努力して参ります。また、未来の地域医療を担う、志ある若者を一人でも多く育てていける魅力的な教室でありたいと思っています。

（福島 剛）

部会だより

学校医部会

かわの まさゆき
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会学校医部会は507名の会員からなり、県医師会の河野会長が部会長を務めています。役員は各郡市医師会から選出された理事を中心に構成されており、児童生徒

の健康診断、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器検診、精神保健などのさまざまな活動を行っています。

令和元年度の主な事業として、8月17日に総会・医学会を行い、「成長曲線の活用法」と題し、宮崎大学医学部小児科医師 麻田智子先生に、「虐待・ネグレクトの発見機関としての学校」と題し、認定NPO法人チャイルドファーストジャパン理事長 山田不二子先生にそれぞれ講演していただき、学校医や養護教諭など、104名の参加がありました。

8月3日・4日の両日、大分県において、九州ブロック学校保健・学校医大会関連行事が開催され、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の部門ごとの教育講演、眼科・耳鼻科・運動器の各分科会が行われました。

8月に大分県、12月に福岡県において開催された九州学校検診協議会専門委員会では、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の4つの部門に分かれ協議を行い健診内容や集計の標準化に取り組みました。

11月23日には、埼玉県で全国学校保健・学

校医大会が開催され、「多様化する社会と子どもの成長～これからの学校医の役割～」をメインテーマとし、1分科会およびシンポジウムなどが行われ、本会役員および各郡市の担当理事が参加しました。

例年3月に日医学校保健講習会が開催されますが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

今年度は、コロナ禍で開催が危ぶまれていた学校医部会総会・医学会を、9月3日にWebにて開催し、「新型コロナウイルス感染症に関連した児童生徒の心の健康」と題し、宮崎県精神保健福祉センター所長 直野慶子先生にご講演いただきました。また、10月1日には、園医部会総会・研修会をWebにて開催し、「予防接種最新情報2020～新しく定期接種となるロタウイルスワクチンとワクチンの接種間隔の変更を含めて～」と題し、久留米大学非常勤講師 津村直幹先生にご講演いただきました。

両方ともWeb上で開催という初の試みでしたが、多数の医師の参加があり、総会・医学会も問題なく終了することができました。このような時期、会自体の活動を持続していくためにも貴重な経験でした。

これからも子どもたちの健康増進のため頑張りたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

(理事 高木 純一)

第120回九州医師会総会・医学会のご案内

10月号でも案内しましたが、毎年九州各県持ち回りで開催しております九州医師会総会・医学会を、下記のとおり宮崎県医師会の担当で開催します。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、WEB（YouTube）でも聴講いただけるよう準備しましたので、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

なお、29日(日)に開催される分科会等の関連行事もWEB開催や一部中止等の変更がございます。

お申込み及び詳細は、第120回九州医師会医学会ホームページ

<https://www.miyazaki-120kyuigaku.jp>



宮崎県医師会ホームページ「第120回九州医師会医学会」バナーをクリックして確認ください。

会 期 令和2年11月28日(土)

場所・参加形式

- 1) シーガイアコンベンションセンターでの現地参加（原則、宮崎県医師会会員のみ）
- 2) ご自宅等でのYouTube聴講による参加 ※単方向配信
- 3) 九州各県医師会会場（宮崎県を除く）でのテレビ会議による参加 ※双方向配信

1 九州医師会連合会総会（4 F 天瑞）

13：00～13：50

- | | |
|----------------|------------------|
| 1) 開会の辞 | 6) 祝電披露 |
| 2) 国歌斉唱 | 7) 宣言・決議 |
| 3) 黙 祷 | 8) 次回開催担当県医師会長挨拶 |
| 4) 九州医師会連合会長挨拶 | 9) 閉会の辞 |
| 5) 来賓祝辞 | |

2 九州医師会医学会（4 F 天瑞）

14：00～16：10

特別講演Ⅰ（14：00～15：00）

演題：「寿命の鍵を握るテロメアの謎を解く

ーヒトテロメア分子機構の解明及び診断・治療の開発」

講師：宮崎大学医学部 機能制御学講座物質科学分野 教授	徐 岩 先生
座長：宮崎県医師会 副会長	濱 田 政 雄

特別講演Ⅱ（15：10～16：10）

演題：「宮崎の強み：本格焼酎の魅力

（製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール体質まで）」

講師：宮崎大学 理事・副学長	水 光 正 仁 先生
座長：宮崎県医師会 会長	河 野 雅 行

－ 各種委員会 －

健康スポーツ医学委員会

と き 令和2年10月5日(月)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

帖佐理事の司会により開会、河野会長の挨拶に続き、本会全理事協議会において本委員会委員長に田中俊正先生、副委員長に松村隆先生の就任が承認されたことが報告された。次に河野会長から諮問事項「公的スポーツメディカルセンター設置に向けた取組みについて」が示され、任期中に協議・答申することとなった。その後、田中委員長の進行で報告・協議が行われた。

報 告

1 令和元年度県民健康セミナーについて

令和2年2月23日に開催予定であったが、当時新型コロナウイルス感染症が国内で拡大し始めた時期であったため、急遽開催を中止したことの報告があった。

2 令和元年度県医健康スポーツ医学セミナーについて

令和2年2月5日に開催した県医健康スポーツ医学セミナーについて報告が行われた。

協 議

1 令和2年度県医健康スポーツ医学セミナーについて

テーマ、講師などについて各委員から意見が出され検討を行い、感染症とスポーツをテーマにした演題で行うことが決定し、日程については令和3年1月～2月の間に開催することが承認された。



2 宮崎県スポーツドクター連盟について

令和元年度の歳入歳出決算、令和2年度事業計画・予算について協議し承認された。

3 諮問事項「公的スポーツメディカルセンター設置に向けた取組みについて」

子どもから高齢者、アマからプロ、健常者から障がい者までサポートできるような「公的スポーツメディカルセンター」の設置に向けた取組みについて、意見交換を行った。

出席者

県医会館－田中委員長、松村副委員長、
押川・宮永・名越・比嘉委員

Web (Zoom)－柳田委員

(県医) 河野会長、濱田副会長、

帖佐・園田理事、牧野課長、本崎主事

九州医師会連合会第387回常任委員会

と き 令和2年10月10日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議システム)

1 開 会

2 挨拶

1) 九州医師会連合会長

河野会長から新型コロナウイルス感染症対応のため書面開催となった定例委員総会の議案が全員賛成により可決成立したことの報告とあわせ議案書の配布および表決書の回収に対し各県医師会長へお礼の挨拶があった。

3 報 告

1) 感染症危機管理体制の強化に向けた日本版CDC (疾病予防管理センター) の創設に係る要望書について (宮崎)

2) 第120回九州医師会医学会等の具体的な開催方法及び手順について (宮崎)

4 議 事

1) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会 (11月28日(土)) について (宮崎)

合同協議会における日医への質問・要望事項は沖縄県医師会からの「新型コロナウイルス感染症における慢性期医療提供の体制について」ほか九州各県から8件提案され、中川会長の中央情勢報告の中で、これらの要望に関して回答をいただくよう日医に提出することが了承された。

2) 第120回九州医師会連合会総会における宣言・決議 (案) について (宮崎)

修正案を含めて検討され、宮崎県医が作成した原案に修正を加えた案をもって第120回臨時委員総会 (書面開催) に提案することが了承された。



3) 第388回常任委員会 (11月10日(火)) の開催について (宮崎)

令和2年11月10日(火)17時からテレビ会議で開催することが了承された。

4) 第5回九州ブロック災害医療研修会並びに九州医師会連合会救急・災害医療担当事務連絡協議会 (令和3年1月23日(土)宮崎市) の開催について (宮崎)

新型コロナウイルス感染症の対応から、これまでは2日間にわたっての開催であったが、今回は、宮崎観光ホテルで3密を避けながら土曜日1日のみの開催とし、研修会は15時から17時まで、担当事務連絡協議会を17時10分から18時40分まで開催すること、ただし、今回は懇親会は開催しないことが了承された。

5) 第389回常任委員会並びに第2回各種協議会 (令和3年2月13日(土)宮崎市) の開催について (宮崎)

令和3年2月13日(土)15時から宮崎観光ホテルで開催することが了承された。

6) 令和2年7月の九州豪雨災害への秋田県医師会からの義援金について（宮崎）

7月の九州豪雨災害に関しては、8月8日開催の常任委員会で中国四国医師会連合会からの見舞金と九医連申し合わせに基づく九医連からの見舞金を加え、被災の状況に応じて熊本県、福岡県、鹿児島県に配分し、該当県へお送りしたことが報告された。そのうえで、今回の秋田県からの義援金も同じ配分割合で熊本県、福岡県、鹿児島県へお送りすることが了承された。

5 その他

1) 日本医師会執行部との連携強化について（鹿児島）

日本医師会執行部との連携強化については、各県とも異論はなく、更に連携を図っていくべきであるが、その方法については、今年度から日医の九州ブロックの代表理事である河野会長から日医の理事会などで検討依頼することとなった。

2) その他

- ① 九州ブロックから日医会内委員会への委員就任状況について10月8日現在の状況を河野会長から報告があった。
- ② 大分県の近藤会長から大分県医の後藤先生考案の感染防護具の紹介があった。

出席者－河野会長、山内事務局長、竹崎次長

10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2020年10月1日～10月26日

1	しげあんちゃん	日 高 四 郎	鉦 脈 社
2	乱癒えず	佐 伯 泰 英	光 文 社
3	半沢直樹アルルカンと道化師	池 井 戸 潤	講 談 社
4	マスカレード・ナイト	東 野 圭 吾	集 英 社
5	本当の自由を手に入れるお金の大学	両 @ リ ベ 大 学 長	朝日新聞出版
6	気がつけば、終着駅	佐 藤 愛 子	中央公論新社
7	危険なビーナス	東 野 圭 吾	講 談 社
8	滅びの前のシャングリラ	風 良 ゆ う	中央公論新社
9	感染症の日本史	磯 田 道 史	文 藝 春 秋
10	「育ちがいい人」だけが知っていること	諏 内 え み	ダイヤモンド社

日医インターネットニュースから

■抗原定性検査の最大限活用を要請 — 厚労省、検体採取の留意事項も —

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部は10月2日付で、「『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第1版）』及び鼻腔検体採取における留意点等について」を都道府県などに事務連絡した。コロナの検体として鼻腔拭い液を活用できるようになったことを受け、簡易に実施できる抗原定性検査がインフルエンザ流行期の発熱患者への検査に有効とし、診療・検査医療機関では簡易キットを最大限活用した検査体制を検討するよう要請。鼻腔拭い液の検体を採取する際の留意事項も示した。

抗原定性検査では鼻腔、鼻咽頭の拭い液を検体に活用できる。鼻腔拭い液から検体を採取する際には、鼻孔から2センチ程度綿棒を挿入し、綿棒を5回程度回転させて十分に湿らせることとした。受検者本人が検体を採取する場合、鼻出血しやすい部位であることにも配慮し、医療従事者の管理下で実施することも求めた。

検体採取に当たっては、医療従事者に一定の暴露があるため、フェースシールド、サージカルマスク、手袋、ガウンといった个人防护具の装着による感染防御が必要とした。受検者本人による鼻腔拭い液の検体採取で医療従事者が検体を扱う場合について、サージカルマスクと手袋の着用で対応できると説明した。

（令和2年10月6日）

●抗原検出用キットのガイドライン廃止

事務連絡では、鼻腔拭い液を検体に追加したことを受けて「SARS-CoV-2抗原検出用キットの活用に関するガイドライン」を廃止する。このガイドラインから内容を引用している事務連絡については、鼻腔拭い液の検体も含めて検査手法を網羅した「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第1版）」に沿った対応を求めるとした。（令和2年10月6日）

■精神的不調やストレス、約4割に — 日医調査 —

新型コロナウイルス感染症による生活様式の

変化で、精神的な不調やストレスを感じるようになった人が約4割に上ることが日本医師会の調査で明らかになった。運動不足で体の不調を感じるようになった人も約2割に上った。10月7日の会見で調査結果を発表した城守国斗常任理事は「必要な検査、診療をしっかりと確実に提供していく必要がある」と述べた。

外出や人との交流が減って、精神的な不調やストレスを感じるようになった人は35.6%、運動不足で体の不調を感じるようになった人は20.7%だった。

同感染症で生活に不安を感じていたのは82.1%、国の外出自粛要請に従ったのは96.8%だった。強制的な外出禁止や休業が必要と考える人は93.6%に上った。

一方、感染症やワクチンなど医学への関心が高まった人は37.2%、医療・保健の重要性を感じるようになった人は33.7%となった。手洗い、うがい、マスク着用など衛生面に気を付けるようになった人は92.6%で、自身の健康に対する意識（食事や運動など）が高まった人は34.6%だった。

医療機関の受診が不安と回答したのは69.3%で、70歳未満では男性より女性の方が不安が高い傾向が見られた。4月と5月に受診の必要があった人のうち、対面での受診を控えた人の割合は14.6%で、そのうち約半数は慢性疾患などの定期受診だった。

同感染症や対策について国が迅速に情報提供したかについては、58.6%が否定的な回答だった。城守常任理事は、インフルエンザとの同時流行に備えて情報を迅速に提供することが重要とし、かかりつけ医がその役割を果たしていくためにも支援が必要とした。（令和2年10月9日）

■HPVワクチンのリーフレットを改訂 — 厚労省 —

厚生労働省は10月9日、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種に関するリーフレットを改訂し、ホームページに掲載した。リーフレットは、ワクチン対象者や目的をあらためて整理し、読みやすさや分かりやすさを重視したもので、「HPVワクチン接種の対象年齢の子

どもとその保護者向けの概要版」などの4種類。都道府県等には、HPVワクチンの接種対象者などへの周知に関する関連通知も同日発出し、必要な情報提供のために新たなリーフレットの活用を求めている。

リーフレットは、▽HPVワクチン接種の対象年齢の子どもとその保護者向けの「概要版」と「詳細版」▽HPVワクチンを接種した子どもとその保護者向け▽HPVワクチンの接種に関係する医療従事者向け—の計4つ。

同日発出された周知に関する具体的な対応などの通知（健健発1009第1号）には、情報提供の目的や、個別送付による情報提供の方法などを記載。対象者が情報に接する機会を確保し、接種をするかどうかについて検討・判断ができるよう、市町村は、予防接種法施行令の規定に基づき、対象者へ周知をするよう求めた。

周知の際は、接種を希望した場合の円滑な接種のため、予防接種を受ける期日または場所など必要事項を周知する必要があることも指摘。接種日時と場所を周知する方法のほか、接種日時と場所などを掲載しているホームページや問い合わせ先を案内し、必要な情報が入手できるようにする方法でも差し支えないとした。

情報提供資材の個別送付と接種日時と場所などの周知に当たっては、「接種を受けましょう」「接種をおすすめします」など、個別送付することで定期接種の積極的な勧奨となるような内容を含まないよう留意する必要があることを記載した。（令和2年10月13日）

●HPV感染症「定期接種の対応」も改正

また、併せて健康局長通知「ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種の対応について（勧告）」も一部改正した。市町村長に対し、同感染症の定期接種対象者らが接種のために受診し

た場合は、ワクチン接種の有効性と安全性などを十分説明した上で、対象者が接種を希望した場合に接種することを、医療機関に周知するよう求めた。（令和2年10月13日）

■診療・検査医療機関への支援、申請開始

厚生労働省健康局結核感染症課は10月9日付で、2020年度「インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業」についてホームページに掲載した。事業は、インフルエンザ流行期でも十分に発熱患者などに対応できる体制を各地域で確保してもらうのが狙い。発熱患者等専用の診察室を設け、発熱患者を受け入れる体制を整えた場合、体制確保に必要な経費を支援する。

対象となる医療機関は都道府県から「診療・検査医療機関（仮称）」の指定を受けた医療機関で、書類を郵送して申請する。申請書類の提出期限は30日。指定を受けて発熱患者等専用の診察室を設けたにもかかわらず実際の受診者数が少なかった場合、所定のルールにより支援を受けることができる。

補助金の算定方法は、発熱患者等を受け入れる体制を確保した時間に応じて、専用の診察室で受け入れが想定される発熱患者等の患者数（基準患者数）から、実際に診療室で受診した発熱患者等の受診者数を差し引いた人数に、1人当たり1万3447円を乗じた額を、体制確保の経費として算定し補助をする。

基準患者数は、各医療機関で専用の診察室を確保した時間に応じて算定されることになるが、人数は1日7時間当たり20人の上限がある。

（令和2年10月16日）

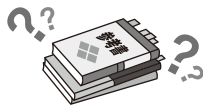
日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）



あなたできますか？

—令和元年度 医師国家試験問題より—

(解答は41ページ)

1. 疾患と治療の組合せで正しいのはどれか。
 - a 多発肝細胞癌
—経カテーテル的動脈化学塞栓術〈TACE〉
 - b 胆石合併胆嚢癌——腹腔鏡下胆嚢摘出術
 - c 特発性門脈圧亢進症—門脈内ステント留置
 - d 膵管内乳頭粘液性腫瘍—膵管ステント留置
 - e 急性化膿性閉塞性胆管炎——胆管切除術
2. 胎児付属物について正しいのはどれか。
 - a 羊水は弱酸性である。
 - b 臍帯動脈は1本である。
 - c 臍帯表面は絨毛膜で覆われる。
 - d 羊膜はWharton膠質からなる。
 - e 臍帯静脈の血液は胎児側に向かって流れる。
3. 加齢に伴う筋力の低下、関節や脊椎の病気および骨粗鬆症などによる運動器の障害のため移動機能の低下をきたし、要介護となる状態やそのリスクの高い状態を表す概念はどれか。
 - a クラッシュシンドローム
 - b ダンピングシンドローム
 - c メタボリックシンドローム
 - d ロコモティブシンドローム
 - e コンパートメントシンドローム
4. HIV感染症の検査について正しいのはどれか。
3つ選べ。
 - a 医師がHIV感染症を疑う症状、所見があれば保険診療となる。
 - b スクリーニング検査の結果が判明するのは実施の2週間後である。
 - c スクリーニング検査は保健所において匿名で受けることができる。
 - d スクリーニング検査は保健所において無料で受けることができる。
 - e スクリーニング結果が陽性だった場合の確認検査は、エイズ治療拠点病院でのみ行うことができる。
5. アルコール依存症の治療について適切なのはどれか。
 - a 入院治療が第一選択である。
 - b 断酒会は匿名参加が原則である。
 - c 離脱症状にベンゾジアゼピン系薬を投与する。
 - d 脳症の予防としてビタミンDは有効である。
 - e 患者に知らせずに抗酒薬を食事に混ぜて投与する。
6. 溶連菌感染症との鑑別で伝染性単核球症を最も強く示唆するのはどれか。
 - a 頭痛
 - b 発熱
 - c 咽頭発赤
 - d 乾性咳嗽
 - e 後頸部リンパ節腫脹
7. 74歳の女性。嚥下困難を主訴に来院した。6か月前から時々胸のつかえ感を自覚していた。3か月前に行った上部消化管内視鏡検査で逆流性食道炎を認め内服薬を処方された。その後も症状は持続し、2週間前から食事摂取が困難となったため再度受診した。橋本病、高血圧症、骨粗鬆症および不眠症があり内服加療中である。身長156cm、体重45kg。脈拍76/分、整。血圧140/86mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。
服用している薬剤のうち、休薬によって症状の改善が見込まれるのはどれか。
 - a 甲状腺ホルモン
 - b プロトンポンプ阻害薬
 - c 経口ビスホスホネート製剤
 - d ベンゾジアゼピン系睡眠薬
 - e アンジオテンシン変換酵素ACE阻害薬
8. 抗菌薬の使用で正しいのはどれか。
 - a 解熱後はすぐに抗菌薬を中止する。
 - b 発熱のある患者には抗菌薬を投与する。
 - c 細菌検査の検体を採取後に抗菌薬を投与する。
 - d 感受性検査の結果によらず広域抗菌薬を継続する。
 - e 解熱薬を併用することで抗菌薬の効果判定が容易になる。
9. ノーベル生理学・医学賞を受賞した日本人研究者とその研究者が貢献した研究内容の組合せで誤っているのはどれか。
 - a 大隅良典 — オートファジーの仕組みの解明
 - b 大村 智 — マラリアに対する新たな治療法の発見
 - c 利根川進 — 抗体の多様性に関する遺伝的原理の発見
 - d 本庶 佑 — 免疫チェックポイント分子の発見
 - e 山中伸弥 — 成熟した細胞のリプログラミングによる多能性の獲得

医師協同組合だより

グループ保険(団体定期保険)のおすすめ

特 長



- ①「お手頃な保険料」
スケールメリットを生かしたお手頃な保険料で補償を準備
- ②「毎年見直しができる」
ライフステージの変化に合わせて補償を毎年見直せる
- ③「ご家族の補償も準備」※1
配偶者様も一緒にお申込みできます
- ④「配当金も魅力」※2
剰余金が生じた場合は、配当金を受け取れる
- ⑤「申し込み手続きが簡単」※3
簡単な告知のみで、医師の診査は必要ありません



※1 本人は1,000万円から4,000万円まで、配偶者は1,000万円までの500万円刻みで加入できます。

※2 配当金は毎年変動し、0(ゼロ)となる可能性もあります。

※3 健康状態によっては加入できない場合があります。

【補償内容】

死亡や所定の高度障害になった場合に、お支払いします

【加入資格】

新規加入は満50歳6カ月以下まで、継続は80歳6カ月まで

【月額保険料例】

40歳男性、補償金額4,000万円の場合・・・5,240円

45歳女性、補償金額4,000万円の場合・・・5,400円

50歳男性、補償金額4,000万円の場合・・・9,800円

(この保険の詳細等は下記までお問い合わせください)

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL: 0985-23-9100

FAX: 0985-23-9179

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。新型コロナウイルス感染症の予防に十分ご注意のうえ、ぜひご利用ください。

※実施期間および接種期間：令和3年3月末日まで

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

◆日曜日の集団健診日程

<宮崎市郡医師会病院 健診センター>

令和3年	1月17日	2月7日	2月21日	3月7日	3月14日
------	-------	------	-------	------	-------

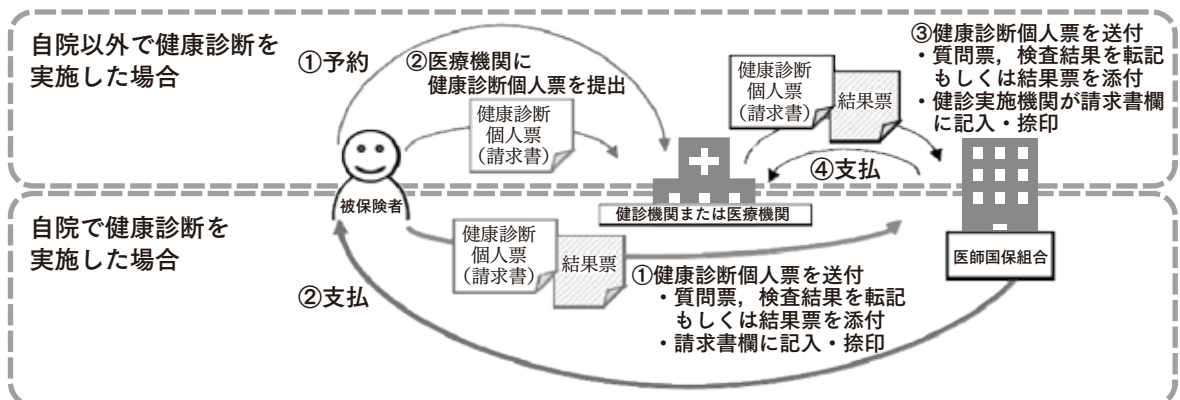
ご予約は当組合（TEL 0985-22-6588）へご連絡ください。

※平日・土曜日のご予約・お問い合わせは健診センター（TEL 0985-77-9108）へお願いします。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。

自家健診についてご不明な点がございましたら、当組合までお問い合わせください。



特定保健指導**◆対象者**

対象者には、当組合より利用券を送付します。

特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。

※自己負担はありません

2 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) インフルエンザワクチン接種補助
- 5) 低線量ヘリカルCT肺がん検診
- 6) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 7) 歯科健康診査

申請書は、
当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保からのお知らせ

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

<被保険者の資格喪失届について>

世帯内のご家族が協会けんぽなどの他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。
組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL : 0985-22-6588 FAX : 0985-27-6550

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口電話 0985-22-5118

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話（0985-22-5118）で対応いたします。

時間外または日曜祝日などで県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の「医療事故調査・支援センター相談専用電話（03-3434-1110）」にご連絡ください。

【制度の目的】

本制度は医療法の「第3章医療の安全の確保」に位置づけられており、6条の11において「病院等の管理者は、医療事故が発生した場合には、厚生労働省令で定めるところにより、速やかにその原因を明らかにするために必要な調査（「医療事故調査」という）を行わなければならない。」と規定されています。本制度は、医療の安全のための再発防止を目的とし、原因を調査するために、医療機関が自主的に医療事故を調査し、再発防止に取り組むことを基本としており、責任追及を目的としたものではありません。



理事会日誌

令和2年9月1日(火) 第10回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 九州医師会連合会について

①九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項等について

→11/28(土)午前中に開催する日医中川会長の講演に盛り込んでいただくようお願いする質問および要望事項などの照会で、担当県として調整する必要があることから、九州各県医師会の回答を踏まえ再度協議することとなった。

②第120回九州医師会連合会総会における「宣言・決議(案)」について

→11/28(土)午後に開催する総会に上程する「宣言・決議」の案で、会長および両副会長が作成した原案を九州各県医師会に照会中であることから、役員で意見などがあれば再度協議することとなった。

③第120回九州医師会医学会開催内容変更のお知らせについて

→8/29(土)に開催した九医連常任委員会で、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた新たな開催計画が承認された

ことから、11/28(土)午後の総会・医学会の開催方法の変更と、4分科会、6記念行事の中止、ホームページ開設などを踏まえた「開催内容変更のお知らせ」を、案内誌と同様、九州各県の郡市医師会を通じて会員に配布することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 8月末日現在の会員数について

3. 8/29(土)(県医)九医連常任委員会について

4. 8/31(月)(県庁)県立病院事業評価委員会について

5. 8/27(木)(県医)都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

6. 理事会の決議(寄付金受入れ)について

7. 9/1(火)(県医)九州厚生局宮崎事務所等との協議について

8. 9/1(火)(県医)治験審査委員会について

9. 8/26(水)全国メディカルコントロール協議会連絡会について

10. その他

令和2年9月8日(火) 第11回常任理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 妊産婦寄り添い支援事業について

県と宮崎市が実施主体となり、主に不安を抱える妊婦に対して分娩前に新型コロナウイルス感染症の検査を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①令和2年度宮崎県学校保健会役員の推薦について

→本会の役員改選にともなう県学校保健会理事の辞任による推薦依頼で、高木

常任理事を推薦することが承認された。

3. 令和2年度公衆衛生事業功労者表彰（厚生労働大臣表彰）候補者の推薦について

健康増進，疾病予防，生活衛生，衛生教育などの諸事業における功績が顕著な方に贈られる表彰で，年齢および功績などを考慮し3名を推薦することが承認された。

4. 9/29(火)（県医）令和2年度第1回各郡市医師会長協議会の開催について

令和2年度，最初の各郡市医師会の会長協議会で，開催方法が見直された9/15(火)（日医）の都道府県医師会長協議会の報告および新型コロナウイルス感染症の今後の対応に関する意見交換などを中心に開催することが承認された。

5. 10/6(火)（県医）各専門分科医会長の開催について

役員改選後，初めて開催される専門分科医会の会長会で，主に県医師会医学会副会長の人選および11/28(土)の九医学の依頼などを中心に開催することが承認された。

6. 11/10(火)（県医）県福祉保健部・病院局との意見交換会の開催について

県議会の日程なども考慮し11/10(火)に意見交換会を開催することおよび今後のスケジュールなどの確認が行われた。県に対する要望については，役員に照会するとともに各郡市医師会の意見を含め簡潔に取りまとめることとなった。

7. その他

①宮崎大学との懇談会について

→例年10月に宮崎大学の学長，副学長および宮崎大学医学部の教授などを招き開催しているが，今年度は新型コロナウイルス感染症の対応状況なども踏まえ開催を見送ることとなった。

（報告事項）

1. 週間報告について

2. 9/6(日) 全国有床診療所協議会常任理事会について

3. 9/4(金)（県医）日医医療秘書認定試験委員会について

4. 9/3(木)（県医）在宅医療研修会企画小委員会について

5. 9/4(金) 看護学校の遠隔授業に関する検討会について

6. 9/3(木)（県医）学校医部会総会・医学会について

医師連盟関係

（議決事項）

1. 衆議院小選挙区担当責任者の推薦について

衆議院の解散を見据え，総選挙に向けた万全の体制を整えるために配置する小選挙区毎の責任者で，1区は山村常任執行委員（正）と小牧常任執行委員（副），2区は吉田常任執行委員（正）と大塚執行委員（副），3区は瀬ノ口常任執行委員（正）と園田執行委員（副）を推薦することが承認された。

令和2年9月29日(火) 第8回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免1名（県医のみ）と臨床研修医74名（1年次18名，2年次56名）の会費減免（日医・県医）が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県衛生環境研究所調査研究評価委員会委員の推薦について

→効率的・効果的な調査研究を実施することを目的に設置されている評価委員会で，役員改選にともなう推薦依頼があり，峰松理事を推薦することが承認された。

- ②宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護連絡会議における委員の推薦について
→障がい者の虐待防止および権利擁護を推進するために設置される連絡協議会で、委員の推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①11/8(日) (県総合保健センター) 運動器の健康「市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会」の名義後援について
→運動器の仕組みや障害、またその予防法について、市民の理解を深めることを目的に、3つの講演とロコモ体操を行う公開講座で、名義後援を行うことが承認された。
- ②11/17(火) (宮日会館大ホール) 過労死等防止対策推進シンポジウムの後援名義使用承認申請について
→11月の過労死等防止啓発月間に合わせ、健康で充実して働き続けることができる社会の実現を目指し開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

4. 11/17(火) (日医) 令和2年度第2回都道府県医師会長会議 (テレビ会議) の開催について

日本医師会の役員改選後、2回目の都道府県医師会長会議で、テレビ会議システムを利用して河野会長が出席することが承認された。

5. 日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「医師会共同利用施設検討委員会」に山村副会長、「定款・諸規程検討委員会」に小牧常任理事、「地域医包括ケア推進委員会」に石川常任理事、「未来医師会ビジョン委員会」に大塚理事を委員として委嘱したいとの依頼があり、

本会として了承することが承認された。

6. 業務委託について

- ①災害時リハビリテーション機能強化事業に係る業務の委託契約について
→災害時におけるリハビリテーション活動の重要性に鑑み、被災地支援や被災時対応に特化した研修会を開催することで、人材育成および体制整備を推進する事業で、契約を締結することが承認された。
- ②宮崎県主治医研修の委託契約について
→適切な要介護および要支援認定に資することなどを目的に、主治医意見書の記載方法などの研修を行う事業で、契約を締結することが承認された。
- ③令和2年度インフルエンザ定期予防接種に係る広域契約について
→県内の高齢者が居住市町村以外で予防接種を受けることを可能にする契約で、接種料金4,405円から各市町村の自己負担額を除いた委託料および予診票1件あたり200円の事務手数料で、市町村と契約を締結することが承認された。
- ④令和2年度広域予防接種業務委託契約の変更について
→対象者が圏域を越えて予防接種できるように、県内26各市町村と締結する委託契約で、10/1(木)の予防接種法施行令などの改正にともない「ロタウイルスワクチン」2項目を追加した41項目で契約を締結することが承認された。

7. 母体保護法設備・指定医師・研修機関の指定申請について

母体保護法指定医師審査委員会の答申を受け、設備新規指定1施設、指定医師所属変更2名、研修機関内容変更1施設を登録することが承認された。

8. 日医生涯教育講座「参加証」の取扱いについて

本会会員については、研修会終了後に提出される受付名簿をもとに「日医生涯教育講座管理システム」で管理しているため、研修会受付時に発行する参加証は、今後、発行しないことが承認された。

9. 10・11月の行事予定について

役員会を含めた10月および11月の行事予定が承認された。

10. 九州医師会連合会について

①九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における日本医師会への質問・要望事項などについて

→合同協議会の中で行われる日医中川会長の講演について、九州各県に照会の結果、9つの質問・要望事項などが出され、内容を確認のうえ、本県から提出を希望する場合は、事務局を通じて河野会長に申し出ることとなった。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 9/9(水) (宮大) 宮大学長選考会議について

3. 9/15(火) (県医) 日医理事会について

4. 9/15(火) (県医) 都道府県医師会会長会議について

5. 9/29(火) (宮大医) 宮大医学部附属病院患者付添者等宿泊施設完成セレモニー

6. 9/28(月) (県庁) 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議について

7. 9/24(木) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について

8. 9/14(月)・24(木) (県医) 広報委員会について

9. 9/24(木) (県庁) 県個人情報保護審議会について

10. 9/17(木) (県医) 県慢性腎臓病対策推進会議世話人会について

11. 9/27(日) (県医) 日本プライマリ・ケア連合学会ブロック支部長会議について

12. 8/26(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について

13. 8/26(水) (県医) 医学会誌編集委員会について

14. 9/8(火) (県医) 母体保護法指定医師審査委員会について

15. 9/29(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

16. 9/5(土) (県医) 産業医研修会について
医師協同組合理事・運営委員合同協議会
(報告事項)

1. 9/29(火) (県医) 医協理事会について
医師連盟関係

(議決事項)

1. 10/13(火) (県医) 宮崎県議会新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会の調査について

県議会議長からの依頼で、新型コロナウイルス感染症の対策と取組状況、今後の提言・要望、新たな感染症への備え、病院経営の状況、県への要望などについて、県医師会役員と意見交換することが承認された。

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
a	e	d	a, c, d	c	e	c	c	b

県 医 の 動 き

(10月)

1	宮崎産業保健総合支援センター辞令交付式 (会長) 園医部会総会・研修会 (Web会議) (高木常任理事)	17	かかりつけ医認知症対応力向上研修会 (Web会議) (石川常任理事) (鹿児島)九州医師協同組合連合会通常総 会 (小牧専務理事)
5	健康スポーツ医学委員会 (会長他)	19	広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)
6	県アイバンク協会寄付金贈呈式 治験審査委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 第12回常任理事協議会 (会長他) 各専門分科医会長会 (会長他)	20	日医理事打合会 (日医TV会議) (会長) 看護学校の遠隔授業に関する検討会 (Web 会議) (瀬ノ口常任理事) 日医理事会 (日医TV会議) (会長)
7	県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸常任理事) 県周産期医療協議会 (嶋本理事)	22	宮大医学部認定再生医療等委員会 (大塚理事)
8	県産婦人科医会常任理事会 (Web会議) (嶋本理事)	23	県がん診療連携協議会 (会長) (日医) 日医医師会共同利用施設検討委員 会 (山村副会長)
9	勤務医部会会計監査 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 (濱田副会長他)	26	県医師養成・定着推進宣言署名式 (会長) 介護保険委員会 (Web会議) (会長他)
10	九医連常任委員会 (日医TV会議) (会長) 九医連第1回各種協議会 (日医TV会議) (会長他)	27	宮大経営協議会・学長選考会議 (会長) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本理事) 医協理事会 (河野理事長他) 第9回全理事協議会 (会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野委員長他)
11	山口那津男公明党代表との懇談会 (河野委員長)	28	労災診療指導委員会 (川野理事) 県整形外科医会保険審査委員打合せ会議 県新型コロナウイルス感染症対策協議会 (濱田副会長他)
12	医療従事者向け認知症対応力向上研修会 (Web会議) (石川常任理事) 広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議 (金丸常任理事)	29	都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連 絡協議会 (日医TV会議) (石川常任理事他) 小児在宅医療に関する人材養成講習会 (日 医TV会議) (石川常任理事) 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医 医療事故調査支援委員会合同会議 (会長他) 医師国保組合理事会 (秦理事長他)
13	県議会新型コロナウイルス等感染症対策 特別委員会調査 (会長他) 江藤拓前農林水産大臣国政報告会 (河野委員長) 第13回常任理事協議会 (会長他)	30	都道府県医師会新型コロナウイルス感染 症担当理事連絡協議会 (日医TV会議) (濱田副会長他) 県糖尿病・慢性腎臓病 (CKD) 対策検討会 (金丸常任理事)
14	県による公益法人立入検査 支払基金幹事会 (会長)	31	産業医研修会(実地) (瀬ノ口常任理事) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会 (Web 会議) (山村副会長他)
16	県障害者施策推進協議会 (山村副会長) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議 会理事会 (Web会議) (石川常任理事) 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃 ・大腸がん検診研修会) (TV会議) (会長他)		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和2年10月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

1) 男性医師求職登録数 7人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	3	1
麻酔科	1	0	1
精神科	1	0	1
老健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 78人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和2年度	4	0	4
平成16年度から累計	57	21	78

3. 求人登録 98件 353人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	107	84	23	消化器外科	3	2	1
外科	27	22	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	29	23	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	15	13	2	皮膚科	5	2	3
麻酔科	14	10	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	8	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	11	10	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	8	7	1
救命救急科	9	9	0	合計	353	280	73

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮 崎 市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮 崎 市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮 崎 市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮 崎 市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮 崎 市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高 岡 町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都 城 市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社) 藤元メディカル藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	放,消内	1	常勤
230162	一社) 藤元メディカル藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募集診療科	求人数	勤務形態
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都 城 市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三 股 町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都 城 市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都 城 市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都 城 市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都 城 市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延 岡 市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延 岡 市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延 岡 市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延 岡 市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日 向 市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日 向 市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都 農 町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西 都 市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日 南 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日 南 市	外,内	2	常勤
230198	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230207	介護老人保健施設 みどりの丘	日 南 市	内	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小 林 市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小 林 市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和2年10月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 2階 547.79㎡ } 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり (20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) 2階 96.00㎡ } ※駐車場あり (29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) 2階 638.35㎡ } ※駐車場あり (30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 2階 338.70㎡ } 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり (50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年10月27日

11			月		
1	日	10:00 e レジフェア (Web会議)	16	月	19:00 自殺対策うつ病研修会 (Web会議)
2	月				
3	火	(文化の日) 10:00 日医かかりつけ医機能研修制度 応用研修会 (Web会議)			
4	水	10:00 県個人情報保護審議会 14:00 県情報化推進有識者会議 19:00 県特定行為に係る看護師の研修 制度推進検討会	17	火	13:00 日医理事打合せ (日医TV会議) 13:30 日医理事会 (日医TV会議) 15:00 都道府県医師会会長会議 (日医 TV会議) 16:00 宮大医学部附属病院医師研修 管理委員会 17:00 医療安全対策セミナー (TV会議) 18:00 参議院議員自見はなこ「次世代の 医療政策を考える会」(Web会議) 19:00 医療安全対策セミナー (TV会議)
5	木	13:15 県高齢者サービス総合調整推進会議 14:00 宮大医学部医の倫理委員会 15:00 県高齢者サービス総合調整推進 会議認知症施策部門 15:00 県自殺対策推進協議会	18	水	
6	金	16:30 県医療介護推進協議会 18:30 県医療審議会	19	木	15:00 (日医) 日医医療秘書認 定試験委員会 19:00 広報委員会 (Web会議) 19:00 生活習慣病検診従事者研 修会 (肺・乳・胃・大腸が ん検診研修会) (Web会議)
7	土				
8	日	10:00 日医かかりつけ医機能研修制 度応用研修会 (Web会議)	20	金	19:00 県医中間監事監査
9	月	19:00 在宅医療協議会研修会 (Web会議)	21	土	
10	火	17:00 九医連常任委員会 (日医TV会議) 17:30 治験審査委員会 (Web会議) 18:30 第10回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師 会との意見交換会	22	日	
11	水	16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会 (Web会議)	23	月	(勤労感謝の日)
12	木	19:00 医協会計監査 19:30 県産婦人科医会常任理事会 (Web会議)	24	火	18:15 医協理事会 19:00 第14回常任理事協議会
13	金	14:00 県訪問看護推進協議会 15:00 宮崎地方労働審議会 19:00 認知症サポート医・かかりつけ医 スキルアップ研修会 (TV会議)	25	水	15:00 労災診療指導委員会 18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会
14	土	10:00 全国学校保健・学校医大会 (Web会議)	26	木	
15	日		27	金	16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス 感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)
			28	土	10:00 九医連委員・九州各県役員合同 協議会 13:00 九州医師会総会・医学会
			29	日	九医学科分科会
			30	月	19:00 医学賞選考委員会

国
社
保
審
査
↓

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年10月27日

12			月		
1	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第15回常任理事協議会	16	水	13:00 日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議) 19:00 広報委員会 (Web会議)
2	水		17	木	14:00 日医学術推進会議 (日医TV会議)
3	木		18	金	
4	金	19:00 産業医部会総会・研修会 (TV会議)	19	土	(福岡)九州各県医師会 学校保健担当理事者会
5	土		20	日	
6	日		21	月	
7	月	13:30 県保険者協議会 19:00 高次脳機能障がい講演会 (Web会議)	22	火	18:15 医協理事会 19:00 第11回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会
8	火	19:00 第16回常任理事協議会	23	水	15:00 労災診療指導委員会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
9	水	16:00 支払基金幹事会 18:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会全体研修会 (Web会議)	24	木	
10	木	19:30 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	25	金	16:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)
11	金	15:00 日医医療秘書認定試験委員会 19:00 広報委員会 (Web会議)	26	土	
12	土	15:00 生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (TV会議)	27	日	
13	日		28	月	
14	月		29	火	(年末休業)
15	火	13:00 (日医) 日医理事打合会 14:00 (日医) 日医理事会	30	水	(年末休業)
			31	木	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

国保審査
社保審査

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となったものがあります。

【中止】や【延期】の表示のないものについても，参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
日医かかりつけ医 機能研修制度「令 和2年度応用研修 会(Web講習会)」 1日目 11月3日(火) 10:00～13:00 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	【専門医共通講習－①医療倫理(必修)：1単位】 かかりつけ医の倫理 ※Webで受講された場合，専門医共通講習の単位は付 与されません。 中京大学 法務総合教育研究機構 専任教授 稲葉 一人 つくし会 理事長 新田 國夫	2 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	かかりつけ医に必要な小児・思春期への対応 吉村小児科 院長 内海 裕美	72 (1.0)	
	在宅医療，多職種連携 多摩ファミリークリニック 院長 大橋 博樹	10 (0.5) 80 (0.5)	
西臼杵郡医師会学 術講演会 (Web講習会) 11月5日(木) 19:00～20:00 高千穂中央公民館 ※受講はWebのみ	不整脈薬物治療ガイドライン2020 ～心房細動に関して～ 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 科長 足利 敬一	42 (0.5) 43 (0.5)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 ※ブリストル・マイ ヤーズスクイブ(株) ☎090-6036-4990 ファイザー(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第63回宮崎県スポーツ学会 11月7日(土) 15:00～18:30 県医師会館 参加費:1,000円	剣道におけるスポーツ医・科学の活用 専修大学文学部 ジャーナリズム学科 教授 齋藤 実	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎県スポーツ学会 ◇共催 久光製薬(株) ◇後援 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
	スポーツ現場における医療～レガシーと未来～ 順天堂大学 スポーツ医学 教授 高澤 祐治	1 (0.5) 10 (0.5)	
	宮崎県でみられる感染症とスポーツ時の対策 宮崎大学医学部 内科学講座免疫感染病態学分野 教授 岡山 昭彦	8 (0.5) 11 (0.5)	
日医かかりつけ医機能研修制度「令和2年度応用研修会(Web研修会)」 2日目 11月8日(日) 10:00～13:00 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	かかりつけ医に必要なリーダーシップ, マネジメント, コミュニケーションスキル 筑波大学医学医療系 地域医療教育学 教授 前野 哲博	4 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	認知症, ポリファーマシーと適正処方 ※Webで受講された場合, CC29(1.0単位)は「地域包括診療料」および「地域包括診療加算」届出時の研修要件に含めることはできません。 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 栗田 主一 東京大学医学部附属病院 老年病科 講師 小島 太郎	29 (1.0)	
	在宅リハビリテーション症例 霞ヶ関南病院 理事長 齊藤 正身	15 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月10日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 11月12日(木) 19:00～20:30 都城市総合文化ホ ールMJ会議室1 ※受講はWebのみ	COPDを征するために えびのセントロクリニック 副院長 横浜市立大学医学部 医学科呼吸器病学 非常勤講師 長井 賢次郎	12 (0.5) 45 (0.5) 46 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 グラクソ・スミスクライン(株)
Major Depressive Disorder (Web講習会) 11月12日(木) 19:00～19:40 東京都新宿区 ※受講はWebのみ	臨床経験から見えてきたボルチオキセチンの服薬継続 への期待(仮) 市ヶ谷ひもろぎクリニック 理事長 渡部 芳徳	70 (0.5)	◇主催 宮崎県精神科診療所協会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763 ルンドベック・ジャパン(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 11月13日(金) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第28回宮崎心エコー研究会 (Web講習会) 11月13日(金) 19:00～20:30 宮崎観光ホテル東館2F「初雁」 ※受講はWebのみ	心エコーで未解決の臨床課題に挑む ～抗凝固療法の至適使用を踏まえて～ 筑波大学医学医療系 臨床検査医学講座 病院教授 石津 智子	15 (1.0)	◇主催 宮崎心エコー研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
西臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 11月13日(金) 19:00～20:00 ホテルグレイトフル高千穂 ※受講はWebのみ	心不全合併を見据えた糖尿病治療 ～循環器専門医のSGLT2阻害薬の活かし方～ 桜橋渡辺病院 副院長 岩倉 克臣	76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 小野薬品工業(株) ※アストラゼネカ(株) ☎080-3100-5805
延岡医学会学術講演会(Web講習会) 11月13日(金) 19:00～21:00 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	不眠症の睡眠衛生指導 宮崎大学医学部 看護学科生活・基盤看護科学講座 准教授 吉永 尚紀 ----- 不眠症治療～レンボレキサントの持つポテンシャル～ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授 石田 康	20 (1.0) ----- 69 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 エーザイ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
令和2年度宮崎県医師会自殺対策うつ病研修会 (Web講習会) 11月16日(月) 19:00～21:00 県医師会館2階研修室 ※受講は現地またはWeb	コロナ禍におけるメンタルヘルス ～なにができるのか、一緒に考えましょう～ 宮崎大学安全衛生保健センター 教授 武田 龍一郎 ----- 生きごこちのいい地域社会 NPO法人みんなのくらしターミナル 代表理事 初鹿野 聡	68 (0.5) 70 (0.5) ----- 20 (0.5) ----- 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第146回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 11月17日(火) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	ナッジ理論を利用した社会的予防 ～循環器病予防コンソーシアムの役割～ 佐賀大学医学部 内科学講座 主任教授 野出 孝一	5 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 武田薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 11月18日(水) 19:00～21:00 県医師会館	建設現場における死亡災害の実態とせき損等職業性外傷 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 研究グループ部長 高木 元也 生涯研修の専門研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
心不全の新たな治療戦略 (Web講習会) 11月18日(水) 19:00～20:30 KITENビル 8 階 大会議室 ※受講は現地またはWeb	当科の造影剤腎症についての検討 宮崎県立延岡病院 循環器内科 医長 黒木 一公 ----- 最新の心不全治療について(仮) 富山大学 医学薬学研究部内科学第二 教授 絹川 弘一郎	7 (0.5) ----- 24 (0.5) 45 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※大塚製薬(株) ☎0985-24-2287 ノバルティスファーマ(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
令和2年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会) (Web講習会) 11月19日(木) 19:00～21:00 県医師会館 ※受講はWebのみ	肺がん検診 宮崎大学医学部 放射線科 講師 中田 博	7 (0.5) (肺)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	コロナ禍の乳がん診療 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科 部長 大友 直樹	11 (0.5) (乳)	
	胃がんの基礎知識 宮崎大学医学部 消化器内科 副科長 稲津 東彦	12 (0.5) (胃)	
	局所進行大腸癌の治療 宮崎大学医学部 外科学講座 准教授 池田 拓人	82 (0.5) (大腸)	
宮崎大学医学部附 属病院2020年度感 染対策講演会 11月27日(金) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	【専門医共通講習－②感染対策(必修): 1単位】 当院における感染対策2020 宮崎大学医学部附属病院 感染制御部 部長 岡山 昭彦	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院感染制御部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-9795
第120回九州医師会 医学会 11月28日(土) 14:00～16:10 シーガイアコンベン ションセンター 4 F 「天瑞」	寿命の鍵を握るテロメアの謎を解く ～ヒトテロメア分子機構の解明及び診断・治療の開発～ 宮崎大学医学部 機能制御学講座物質科学分野 教授 徐 岩	3 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 九州医師会医学会
	宮崎の強み: 本格焼酎の魅力 ～製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール 体質まで～ 宮崎大学 副学長・理事 水光 正仁	0 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第10分科会 泌尿器科学会/第229 回宮崎県泌尿器科 医会 11月28日(土) 16:30～19:00 シーガイアコンベンションセンター 2F「オーチャード (南)」	日本臨床泌尿器科医会の紹介 ～泌尿器科の現状と入会の勧め～ 日本臨床泌尿器科医会 理事 瀬尾クリニック 院長 瀬尾 一史	7 (0.5)	◇主催 宮崎県泌尿器科医会 (連絡先) みのだ泌尿器科医院 ☎0985-54-7171
	泌尿器腫瘍における新規治療薬にかかる医療費を考察する 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 講師 寺田 直樹	7 (0.5)	
	腹腔鏡技術認定制度の歴史と実際 秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座 教授 泌尿器腹腔鏡技術認定制度 委員長 羽渕 友則	7 (0.5)	
	泌尿器腹腔鏡手術の実際 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 准教授 向井 尚一郎	7 (0.5)	
令和2年度宮崎県 整形外科医会研修会 11月28日(土) 16:30～17:45 シーガイアコンベンションセンター 2F「ファウンテン」	令和2年度全国整形外科保険審査委員会議報告 県国民健康保険診療報酬 審査委員 税所 幸一郎 県社会保険診療報酬支払基金 審査委員 福嶋 秀一郎	9 (1.0)	◇主催 宮崎県整形外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第120回九州医師会 医学会第4分科会 整形外科学会 11月28日(土) 17:45～18:45 シーガイアコンベンションセンター 2F「ファウンテン」	医療安全における実地診療で注意すべき運動疾患 ～診療で落とし穴に入らないために～ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科科学分野 教授 帖佐 悦男	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第2分科会 小児科学会/第73 回九州小児科学会 (Web講習会) 11月29日(日) 8:30～12:10 シーガイアコンベンションセンター 4F「天玉」 ※受講は現地またはWeb	小児科診療と在宅医療 おがた小児科内科医院 医療型特定短期入所施設かぼちゃんクラブ 理事長 緒方 健一	72 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 九州小児科学会 ◇共催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	レセプト審査の現状と今後 社会保険診療報酬支払基金福岡支部 医療顧問 高木 誠一郎	6 (0.5) 9 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第9分科会 眼科学会 11月29日(日) 9:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター 3F「瑞洋」	視神経疾患ケーススタディ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 准教授 中馬 秀樹	36 (1.5)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015
	視覚障害を支援するためのデバイスの開発と応用 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座眼科学分野 教授 池田 康博	36 (1.5)	
第120回九州医師会 医学会第3分科会 外科学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター 2F「オーチャード(北)」 【中止】	私の考える外科医の学生・若手医師教育 宮崎大学医学部 外科学講座肝胆膵外科学分野 教授 七島 篤志	1 (1.0)	◇主催 九州医師会医学会第3分科会外科学会 ◇共催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100
	労基署立ち入りから3年半 好生館は変わったか？ 佐賀県医療センター好生館 館長 佐藤 清治	0 (0.5) 6 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第120回九州医師会 医学会第5分科会 産科婦人科学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター 2F「ファウンテン」 【中止】	【専門医共通講習－①医療倫理(必修): 1単位】 臨床遺伝について知っておきたいこと 宮崎大学医学部附属病院 産婦人科 病院教授 山口 昌俊	3 (1.0)	◇主催 宮崎県産科婦人科学会 ◇共催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118
	婦人科疾患における腹腔鏡下手術の進歩 石川県立中央病院 産婦人科 部長 総合母子医療センター 部長 干場 勉	0 (0.5) 53 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第11分科会 透析学会 11月29日(日) 10:00～12:00 シーガイアコンベンションセンター 2F「オーチャード」	臨床医から見たファブリー病 霧島記念病院 副院長 中尾 正一郎	31 (0.5) 51 (0.5)	◇主催 宮崎県透析医会 (連絡先) 宮崎大学医学部血液・ 血管先端医療学講座 ☎0985-85-0872
	尿沈渣検査からみつかるファブリー病 ～マルベリー細胞・小体の検出～ 九州大学病院 検査部 主任 川満 紀子	38 (0.5) 53 (0.5)	
第120回九州医師会 医学会第8分科会 皮膚科学会/第30回 皮膚の日講演会 11月29日(日) 12:00～17:00 シーガイアコンベンションセンター 4F「天瑞」	一人の教師として・人間として 講師 齋藤 正健	72 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 宮崎県皮膚科医会 日本臨床皮膚科医会宮崎支部
	土呂久の記録者として 講師 川原 一之	11 (1.0)	日本臨床皮膚科医会 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 NHK
	ヒ素中毒の経過と転帰～土呂久ヒ素中毒を中心に～ 青木皮膚科 出盛 允啓	12 (1.0)	日本医師会 (連絡先) フタバ皮膚科形成外科医院 ☎0985-53-8877

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 12月2日(水) 19:00～21:00 県医師会館	精神疾患と自殺対策 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
不眠症診療セミナー (Web講習会) 12月9日(水) 19:00～21:00 MRTmicc 3階エ メラルドホール ※受講はWebのみ	不眠症の睡眠衛生指導 宮崎大学医学部 看護学科生活・基盤看護科学講座 准教授 吉永 尚紀 不眠症治療～レンボレキサントの持つポテンシャル～ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授 石田 康	20 (1.0) 69 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎080-5987-5929
令和2年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 (がん検診指定研 修会)【TV会議】 12月12日(土) 15:00～17:00 県医師会館【TV会 議場：都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸】	肺がん検診 宮崎大学医学部 放射線科 講師 中田 博 コロナ禍の乳がん診療 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科 部長 大友 直樹 胃がんの基礎知識 宮崎大学医学部 消化器内科 副科長 稲津 東彦 局所進行大腸癌の治療 宮崎大学医学部 外科学講座 准教授 池田 拓人	7 (0.5) ① 11 (0.5) ② 12 (0.5) ③ 82 (0.5) ④	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第191回宮崎県眼科 医会講習会 12月12日(土) 16:00～18:45 ホテルメリージュ 参加費:3,000円	オキュラサーフェス疾患についての最近の話題 東邦大学医療センター大森病院 教授 堀 裕一	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	最近の緑内障手術と合併症対策 千原眼科医院 院長 千原 悦夫	36 (1.0)	
第14回はまゆう整 形外科セミナー 12月12日(土) 17:30～18:30 宮崎観光ホテル東 館3階「翠燿の間」	痙縮に対する整形外科的アプローチ 宮崎県立こども療育センター センター長 川野 彰裕	72 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整 形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
	若年者の上肢疾患症例について考える 藤元総合病院 整形外科 部長 矢野 浩明	78 (0.5)	
第81回宮崎整形外 科懇話会 12月26日(土) 17:30～18:30 県医師会館 参加費:1,000円	新時代のリウマチトータルマネジメント ～手疾患を中心に～ 新潟県立リウマチセンター 院長 石川 肇	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業 医研修会 1月14日(木) 19:00～21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会:2単位	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		5 (0.5)	
		11 (0.5)	
		12 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月21日(木) 19:00～21:00 県医師会館	この1年間、産業保健はどのように動いたか 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

お知らせ

日本医師会生涯教育講座参加証配布の停止について

10月より参加証の配布を止め、受付名簿をもとに「研修会参加管理システム」で一括管理しております。

また、Webで受講された場合はログで出席を確認いたします。

なお、県外で受講された場合は、後日、追加申告で参加証が必要となりますので、引き続き保管をお願いいたします。

日本医師会生涯教育講座
参 加 証

氏名： _____

主催： _____

講習会名： _____

開催日 年 月 日～ 年 月 日

合計単位数 単位

CC	単位

貴殿は、標記講習会に参加したことを証明します。

令和 年 月 日

宮崎県医師会長

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

診療メモ

足のトラブル（巻き爪、タコ、ウオノメ）の治療
－足育の重要性－

いのうえ皮膚科 院長 井 上 知 宏

私たち皮膚科医は、日常診療のなかで巻き爪やタコ（胼胝）、ウオノメ（鶏眼）といったCommon diseaseとしばしば遭遇します。生命に関わる疾患ではありませんが、巻き爪やウオノメは歩行時に痛みをとまなうためADLを大きく損ないますし、タコは放置すると足弓や体のバランスが崩れ、膝痛や腰痛の原因になるといわれています。更に発症時期は年々若年化しており、最近では中高生の受診件数も増えています。ご自分のお子さんやお孫さんが巻き爪やウオノメで困っているという先生もいらっしゃるかもしれません。その際に少しでもお役に立てるようにできるだけ分かりやすくご説明したいと思います。

では、巻き爪やウオノメ、タコの原因は何でしょうか。簡潔に言うと足を大切にする習慣の欠如と言えます。私たち医師は医学部に入るために沢山勉強をしてきましたが、小、中、高校では正しい爪の切り方、正しい靴の選び方、正しい歩き方などは授業で教わりませんでした。足の変形は小児のころから始まっており、足を大切にする習慣を身に着ける「足育」が大切だと考えます。足育の基本である①爪の切り方②靴の選び方③歩き方についてご説明します。

- ① 爪の切り方について大切なのは、爪の長さを指の長さと同じ長さに保つこと、爪の形は真ん中も端っこもほぼ同じ長さ（スク

エア型）に保つことです（図1）。爪は指を上から押さえることで形が保たれ、指が爪を下から押し上げることで爪が巻くのを防いでおり、正しい歩き方が、巻き爪の予防になることがご理解いただけると思います。



図1

- ② 靴の選び方については、私が子どものころは、踵に指が1本入る靴を買いなさいと言われていた記憶があります。靴は小さいと過度な圧迫による爪の変形をきたしますが、大きい靴だと靴の中で足が動いてしまい、正しい歩き方を妨げてしまいます。靴の後方に踵を合わせ、指先が動かせるスペースがある靴を選ぶのが良いとされていますが、最近は靴屋さんにシューフィッターという専門職の方がいらっしゃるので、購入の際にアドバイスをしてもらうのが良いでしょう。

③ 歩き方については、何を今更と思われる先生もいらっしゃると思いますが、意外と難しいものです。ポイントは、踵で着地して小指側→親指側へと体重移動して、最後に親指で地面を感じながら足を踏み出すことを意識することが大切です。このとき歩幅を5cmでも10cmでも前に大きく踏み出すことで、踵着地の意識が高くなります。高齢者ほど歩幅が狭くなり、つま先着地をしてしまう傾向にありますが、歩幅を大きくすると、片足で立つ時間が長くなり痴呆の予防につながります。

最後に治療についてですが、タコやウオノメを治療する際は、角化した部分を削ることが治療になりますが、初診の患者さんには正しい歩き方について説明します。硬くなったら再診するように説明しますが、歩き方を気を付けることで徐々に受診間隔が開いていきます。巻き爪の治療については、保存的治療と外科的治療がありますが、ここで気を付けたいのは、「巻き爪で痛い」という主訴の患者さんの多くは、巻き爪ではなく扁平な爪の陥入爪ということです。陥入爪の原因で最も多いのは深爪であり、特に歩行時に大きな荷重がかかる第1趾に深爪による爪棘が形成されると皮膚に刺入し、陥入爪を発症します。保存的治療として、テーピング法のほか最近ではワイヤーを用いた治療が行われます。

当院では、爪に傷をつけず、短い爪でも装着が可能な3TOワイヤー（自費診療）（図2）を用いた保存的治療を行っています。装着は局所麻酔の必要もなく、サッカー以外のスポーツは可能です。しかし、爪の形状や陥入部位によっては装着後すぐに痛みが取れない症例もあるた

め、外科的治療を併用することがあります。外科的治療としては、以前は部分抜爪後にフェノール法で爪母を腐食させ爪甲の幅を狭くする方法が広く行われてきましたが、爪甲鉤彎症などの後遺症を残すことが多いため安易に行うべきではないとされています。したがって当院では、陥入部の中枢側に3TOワイヤーをかけた後、外科的治療として陥入部の爪と不良肉芽を部分的に除去しますが、爪母は温存する方法をとることで、後遺症を残さず、痛みを早期に取る治療法を目指しています。

足のトラブルはQOLを大きく損ないます。高齢者においては歩行機能を守るために早期に適切に対応することが大切ですし、若年者の足トラブル回避のためには足育の推進が急務であると考えます。足のトラブルを抱えた患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひお近くの皮膚科医にご相談ください。

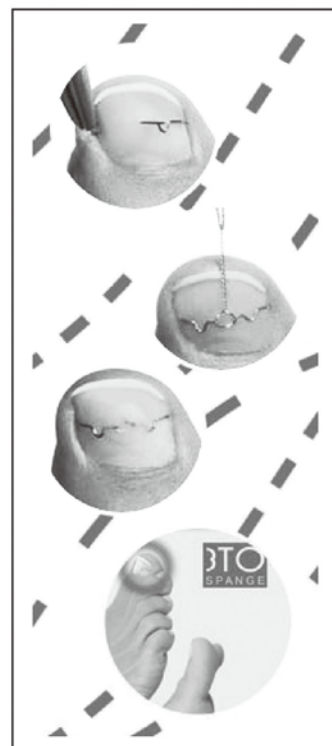


図2 3TOワイヤー

宮大医学部学生のページ



宮崎大学学園祭 清花祭(中止)

清花祭清武キャンパス実行委員長 医学科4年 ^{はま}濱 ^{かわ}川 ^{こう}晃 ^{すけ}輔

今年度はコロナウイルスの影響により、学園祭を実施することは不可能という判断をし、学園祭を中止することに決定いたしました。長く続いた学園祭が私の代で一度途切れてしまうことは本当に悲しく思います。この学園祭を楽しみにしていただいている地域住民を始めとした多くの方々にお詫び申し上げます。この1年間はぐっと我慢をし、来年度の学園祭では今年度の分まで盛り上がるように上級生として携わっていきたいと考えています。

本来であれば行われるはずでした企画・イベントについて少し紹介いたします。

〈解剖・病理企画〉

この企画は、身体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。例年では実物の病理標本や模型に加え、子どもたちにも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。

〈模擬店〉

各部が二日間にわたってそれぞれの模擬店を作り、清花祭を盛り上げます。清武キャンパス

では講義棟前の中庭を模擬店が囲みトマト鍋、はしまき、わたあめ、焼きそばなどさまざまな種類の食品販売があります。

〈子ども企画〉

子ども企画では、清花祭に来てくれた子どもたちと一緒に、体育館でミニ運動会を行います。大学で行う年に一度のお祭りを、子どもや保護者の方と一緒に楽しい時間を過ごしていきたいと考え、メダルやお菓子をを用意して、多くの子どもたちが楽しみ、喜んでくれるように行います。

〈年齢企画〉

毎年来場者が1,000人を超え、リピーター続出の、地域の方々からも愛される人気企画です。脳、肌、血管、体力といった体の状態を「年齢」と言う数字を通して測定することで、自身の健康に関心を持っていただくことを目的としています。

〈アロマ企画〉

「人の心を癒す優しさ」を伝える療法として医療現場に取り入れられつつあるメディカルア

ロマセラピーについての展示と、実際にアロマオイルを使ったハンドマッサージ、そしてハーブティーとお菓子の提供を通して“人を癒す”ことを考えるという企画です。

〈患者さんの気持ち・看護師の気持ち・お医者さんの気持ち〉

患者さんや医療従事者の気持ちを本という1つの形にしてきて、20年近くになります。例年は、学祭を機にこの本の配布をします。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることでお互いの「伝えなかったのは伝えられなかった思い」に近づく機会となれば良いなと考えています。



昨年の外ステージでのミスコン



昨年の後夜祭の様子



昨年の子ども企画の様子

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
9月1日	・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤（キイトルーダ点滴静注）及び抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤（イミフィンジ点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第15報） ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その7） ・新型コロナウイルス感染症患者の医療実態に関する疫学研究に向けた管下病院へのご協力お願い ・独立行政法人福祉医療機構の新型コロナウイルス対応支援資金をかたる不審な訪問・勧誘についてご注意ください
9月3日	・新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いに関する留意事項等について ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた在留外国人のための電話相談窓口（FRESCヘルプデスク）の開設について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その26） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その30）」の送付について ・令和2年度 診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・カドサイラ点滴静注用100mg及び同160mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について
9月4日	・新型コロナウイルス感染症に関する外国語対応ホームページの開設について ・「「第7次医療計画及び第7期介護保険事業（支援）計画における整備目標及びサービスの量の見込みに係る整合性の確保について」の一部改正について」の送付について
9月7日	・具体的対応方針の再検証等の期限について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その31）」の送付について ・安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律の一部改正について ・安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第12条に規定する採血等の制限の考え方について」の一部改正について ・Web講習会に関するQ & A（2020.8.25改訂版）の一部改正について

送付日	文 書 名
9月8日	・「病原微生物検出情報」の送付について ・介護サービス事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金支給に係る協力の依頼について（令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（介護分）） ・令和2年度 診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について ・次のインフルエンザ流行に備えた体制整備について
9月10日	・日本化学療法学会・日本感染症学会 外来抗菌薬適正使用調査委員会 抗菌薬適正使用に関するアンケート調査について ・介護保険の地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の手引きについて ・新型コロナウイルス感染症に関する行政検査の遺伝子検査方法の今後の取扱いについて ・「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」の施行に伴う、輸入確認に関する通知について ・新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の運用に関するアンケートへの御協力依頼について ・異なるワクチンの接種間隔の見直しについて
9月11日	・有料老人ホーム等における入居者の医療・介護サービス等の利用について ・新型コロナウイルス感染症対応に係る介護報酬等の請求（9月提出分及び10月提出分）の取扱いについて ・「令和2年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について」及び「医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正について」 ・新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた両立支援コーディネーターの養成について ・じん肺法施行規則等の一部を改正する省令の施行について ・NBCR対策推進機構第3回「CBRNEテロ・災害と医療対策担当者養成講習会」の開催について ・材料価格基準の一部改正等について ・「「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」の一部訂正について ・共済組合員証等の無効について ・日本専門医機構認定共通講習におけるWEB講習の取扱いについて ・言語聴覚士免許証の様式変更について ・母体保護法第14条（医師の認定による人工妊娠中絶）に係る同意について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
9月14日	・「使用上の注意」の改訂について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その32）」の送付について ・産業界と連携した医療物資増産等のサポート体制について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第3版」の周知について ・「廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」について ・令和2年度 結核予防週間の実施について

送付日	文 書 名
9月14日	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者及び無症状病原体保有者の退院の取扱いに関する質疑応答集（Q & A）の一部改正について） ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の委託契約について ・今冬のインフルエンザワクチンの優先的な接種対象者への呼びかけについて ・令和2年5月15日から7月31日までの間の豪雨による災害により被害を受けた医療関係施設等に対する災害復旧資金の特例措置について
9月17日	・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その27） ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・「海外渡航者新型コロナウイルス検査センター（TeCOT）」の周知について ・宮崎県医療機器産業研究会会員企業が取り扱う新型コロナウイルス感染症対策関連機器の周知について ・令和2年度「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催案内及び周知の協力依頼について
9月18日	・医師国家試験問題の公募についてご協力をお願い
9月23日	・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金の特例を利用する際の申請期限等に関する周知要請について ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた在留外国人のためのヘルプデスクの開設について ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う雇用調整助成金等の申請期限について ・「新型コロナウイルス感染症重点医療機関及び新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関について」の改正について ・「新型コロナウイルス感染症に関する検査体制の拡充に向けた指針」について ・令和元年台風第15号及び令和元年台風第19号による被災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について ・「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」に関する通知について ・今冬のインフルエンザワクチンの優先的な接種対象者への呼びかけについて
9月24日	・令和2年度 県内医療機関WEB合同就職説明会について ・令和2年7月豪雨による被災に伴う保険診療関係等の特例措置の期間について
9月25日	・令和2年度 文部科学省補助事業アレルギー講習会（学校における普及啓発講習会）広島開催について ・独立行政法人福祉医療機構の令和2年5月15日から7月31日までの間の豪雨による災害により被害を受けた医療関係施設等に対する災害復旧資金の特例措置について ・独立行政法人福祉医療機構の新型コロナウイルスの感染により事業停止等となった事業者に対する福祉医療貸付事業の対応について（一部改正） ・「医療資格者の労災給付の上乗せを行う医療機関への補助」に関連した日本医師会の支援策について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて

送付日	文 書 名
9月29日	・「新型コロナウイルス感染症に対応した医療機関等への更なる支援」について ・介護保険施設等における入所（居）者の医療・介護サービス等の利用について ・次のインフルエンザ流行に備えた体制整備に係る医療用物資の配布について ・新型コロナウイルス感染症に係るPCR等検査の現状整理について ・「令和2年度在宅医療関連講師人材養成事業」研修会に関するご協力のお願いについて ・介護サービス事業所・施設における盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業の取扱いについて ・令和2年度 インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金に係る対応について ・三股町子ども医療費助成内容の変更及び会員への周知について ・第51回全国学校保健・学校医大会の開催要項の一部変更並びに新型コロナウイルス感染症対策のお願いについて ・令和2年度 医療機関における外国人患者受入れに係る実態調査実施について
9月30日	・令和3年度 医療に関する税制要望について

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書、研修会の案内など）

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

◆登録方法について

県医師会事務局宛 office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。

折り返し、事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。

まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

あとかき



政府が飲食店の活性化のためにと開始したGo Toイートキャンペーンを悪用し、姑息な手を使ってポイントをあら稼ぎする消費者が出てきたとのニュースが報道されました。日本人の道德観はどうなってしまったのでしょうか。

宮崎の人は人柄がよく、優しい人が多いといわれます。私も同感です。先日MRTテレビわけもんの武坊探

偵社という新コーナーで、学生時代にお世話になった90歳になる定食屋さんのマスターを探していただきました。まさかの採用でした。MRTのスタッフの方の頑張りでお会いでき、あのことのお礼を言わせていただくことができました。初めてテレビ撮影に参加しましたがスタッフの方はプロデューサー兼運転手、カメラマン兼音声、アナウンサーの3名で実にアットホームで親切でした。自分のことのように親身になって探していただき、一緒に喜んでくださいました。宮崎ローカルのよさ、温かさを感じ、この宮崎の人々、人柄を大切にしたい、守っていききたいと思いました。人それぞれいろいろな事情があるかと思いますが、この宮崎には気候も人も温かい、優しい、穏やかな都市であってほしいと思っています。恥ずかしがらず、とことん皆でいい人ぶると、優しい宮崎になると思います。世の中、大変なことが多々ありますがみんなで肩を寄せ合って乗り越えていきましょう。(石田)

* * * * *

今年の宮崎看護専門学校の授業が10月14日で終わりました。高等課程が5月から8月、専門課程が9月から10月と、半年かけて週1回の授業を8年間続けてきました。10代から50代までの幅広い年齢層の生徒たちは、何かしらの看護師への思いがあってこの学校に來ています。毎年生徒たちの雰囲気は違いますが、さまざまな人生観を背負って授業を受けていると思うと、つい授業中に教科書には書いていない講義をしてしまいます。先日は、僕の失恋話！今度の試験問題にだそうかと思っていますが、選択肢は4つでも足りそうありません(笑)。(野村)

* * *

先日、今流行りの？Web学会に参加した。自宅にいながら、当然くつろいだ格好で、飲食しながらでも参加できるというお手軽さであった。反面、学会会場までの旅行？景色を楽しむこともなく、また学会の雰囲気を感じることもなかった。懇親会そして同僚たちとの楽しい会話も当然なく、寂しさを感じた。やはり人は人と会って、目を見て話すことが大切だと思った。一日も早くこの状況から脱したいのだが、さて、いつの日になることやら。(山崎)

* * *

先日“ポツンと一軒家”というテレビ番組である古民家に住む90才くらいのご夫婦が取り上げられていました。敷地内に牛を飼っていたころの畜舎やサイロなどがあったようですが、夫がそれをハンマーでコツコツと一人で壊している様子が映し出されました。その理由というのが“自分が作ったものは自分で壊す。それがけじめ。”というもの。私はいろいろなことをやりっ放しにしているな、とちょっと反省させられた時間でした。(高橋)

9月30日から10月3日までの4日間、5年生の到達度試験がありました。臨床医学全般について問われるため、今までの試験と比較して必要な知識量が多く、勉強がとて大変でした。また、4年の夏以来の筆記試験であり、留年してしまうと1年間やってきた実習をやり直すことになるため、緊張もかなりのものでした。しかし、いざ試験が始まってみると分かるものが多く、解いていて少し楽しく感じました。今回得た知識をこれからの実習に活かしていきたいです。(河野(真))

* * *

最近、運動不足が気になっていたもので、ランニングを始めました。週2回、5キロの距離を止まらずに走るのをノルマとして、毎回ヘトヘトになりながらもなんとか走り切っています。自分よりも年齢が上の方々が、自分よりも速いペースで颯爽と走っていらっしゃる姿を見て、「まだ若いのにそんなもんか」と尻を叩かれているかのように感じます。三日坊主にならないように、継続してランニングに取り組んでいきたいです。(横山)

* * *

3月からのコロナ感染拡大により経営面で大きなダメージを受けている小児科。子どもたちには良いことですが感染症の激減にて今後も診療報酬の面で回復の兆しは見えておりません。医業崩壊の危機です。Go To～ばかり力を注いでいては近い将来子どもたちのかかりつけ医がいなくなることを国に考えてもらいたいです。(高木)

今月のトピックス

COVID-19報告 新型コロナウイルス感染症に係る県医師会の動き（10月12日現在）

COVID-19に係る県医師会の動きについて県医師会の吉田建世常任理事にご報告いただきました。国も「診療・検査医療機関」なるものを打ち出してきていますが、補助金の出し方をみると、頑張っても多くの発熱患者を診るほど減額となり、また発熱外来として設定した時間帯に他の一般患者を診ると減額となるなど、合点のいかない内容となっているように思います。

4 ページ

日州医談 医事紛争について

医事紛争について県医師会の小牧斎常任理事に教えていただきました。訴訟は数年かかるものも多く、手間とストレスが甚大と聞き及びます。賠償保険に入っているからといって油断せず、普段から紛争にならない診療やカルテ記載を心がけたいものです。

6 ページ

診療メモ 足のトラブル（巻き爪、タコ、ウオノメ）の治療ー足育の重要性ー

足のトラブル、足育の重要性をいのうえ皮ふ科の井上知宏先生に教えていただきました。小生も10年くらい前から左足底にウオノメらしきものがあり、たまに痛むことがあります。歩き方が悪いのかしら？

64ページ

日 州 医 事 第855号 (令和2年11月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔, 植田 雄一, 高橋 典子, 菊池 英維,
石田 康行, 長井 慎成

学 生 委 員 河野 太地, 河野 真菜, 横山慎太郎, 木村 桃子

担当副会長 山村 善教・担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)